

統計研究参考資料

No. 11

アメリカ合衆国における
農業経済データ体系
(解題と関連文献)

1982年3月

法政大学

日本統計研究所

目 次

訳者まえがき	1
第1章 農業経済データの発展	4
1. 農業経済データの位置	4
2. 農業センサス	6
3. 展 望	7
第2章 農業推計方法論の技術的発展	10
第3章 現代農業データ・ベース評価	13
1. 農業情報体系の現状	13
2. データ・分析・情報：パラダイム	15
第4章 農村社会経済統計	20
1. 社会経済統計の需要サイドの問題	20
2. 社会経済統計の供給サイドの問題	21
3. 統計体系改善のための提言	22
関連文献目録	

アメリカ合衆国における農業経済データ体系

訳者まえがき

1. アメリカ農業経済学会は、目下「農業経済学文献概説」(A Survey of Agricultural Economics Literature)(全4巻)を刊行しつつある。

このシリーズは、Lee R. Martin(ミネソタ大学教授)を編集総責任者として1977年から刊行(ミネソタ大学出版)されているもので、現在、最終の第4巻をのぞいて全部が刊行済みである。

本シリーズ各巻のタイトルだけを示しておく

第1巻 農業経済学の伝統的分野 1940代—1970代(1977刊)

第2巻 農業経済学の数量的方法 1940代—1970代(1977刊)

第3巻 農業における福祉、農村開発、天然資源の経済学 1940代—1970代(1981刊)

第4巻 経済発展と農業(近刊)

であって、各巻いずれも500—600頁の大冊である。

2. 法政大学日本統計研究所では、統計研究参考資料として、このうちの第2巻農業経済学の数量的方法(Quantitative Methods in Agricultural Economics)の中に収録されているpart IV 農業経済の情報体系(Agricultural Economic Information Systems)にかんする解説と関連文献目録を紹介することにした。

第2巻は農業経済学の数量的方法を4つのpartに分けて、それぞれのpartごとに解説と関連文献の一覧を与えている。

つぎのとおりである。

part I. 経済学における推計と統計的推測

part II. 農業における経済最適化と資源の経済学

part III. 農業におけるシステム分析とシミュレーションおよび資源の経済学

part IV. 農業経済の情報体系

3. ここにとりあげた第2巻、part IV 農業経済の情報体系は又、それぞれの主題に応じて4つの章に分けられて解説が付され、さいごにpart IV全体をつうずる関連文献の一覧表がつけられるという構成となっている。

各章のタイトル、執筆担当者、および大意を示しておく。

第1章 農業経済データの発展(Developments in Agricultural Economic Data)これは

M. L. Upchurch（農務省経済調査局エコノミストを経て、現在、フロリダ大学教授）の執筆で、第2次大戦後の食糧・繊維経済部門のデータ体系の発展を詳細にあとづけるとともに将来展望を与えている。

第2章農業推計方法論の技術的発展（Technical Developments in Agricultural Estimates Methodology）これはH. C. Treloganら5氏の共同執筆である。執筆者はいずれも農務省統計報告局（SRS）のスタッフ（OBを含む）である。

ここでは、農作物、家畜にかんする推計方法の技術的発展の沿革および将来の課題についての概観が与えられている。

第3章現代農業データ・ベース評価：情報体系的接近（Assessment of the Current Agricultural Data Base：An Information System Approach）これはJ. T. Bonnen（ミシガン州立大学教授）の執筆で、現在のアメリカ食糧・繊維部門データ・ベースについて情報体系のかん点から評価を与えている。

第4章農村社会経済統計（Rural Economic and Social Statistics）これはW. K. Bryant（コーネル大学教授）の執筆で、農村地域と住民にかんする社会経済データの現況および問題点が示されている。

以上が4つの章から成る農業経済情報体系にかんする解説の概要であるが、本資料はこれらを逐語的に全訳したものではなく、原著者の主張の梗概が把握できるよう、主要な箇所をぬき出して訳出したものである。

しかし、さいごの関連文献は原著巻末掲載の文献をそのまま全部翻訳してある。

4. まず、ここでひんばんに使用されているデータ体系（data systems）という言葉は、連邦・州・地方の各政府レベルを通ずる統計の収集・整理にかんする全活動の複合体を意味するものとして使用されていると云ってよい。

そして、ここに紹介するアメリカ農業経済データ体系をめぐる諸問題の解説および関連文献の最近のハイライトは農業データ体系の陳腐化をめぐる論議である。

アメリカでは、1972年の農業経済学会の年次大会において、同学会の経済統計委員会（1969年設置）が、現行の農業データ体系のもつ問題点の総合的検討結果を報告（「わが陳腐化したデータ体系：新しい方向と好機」）して以来、農業データ体系の危機が声高にさげばれている。

このデータ体系の危機とは、第2次大戦後、とりわけ1960年代以降の農業と農村生活の急速な構造変化によってデータ体系の基礎にある理論的概念の陳腐化が進行しているにも拘らず、新しい構造を反映した新しい理論的基準にもとづくデータ体系をいまだに構築

しえないままでいる、という現状認識の卒直な表白にはかならない。

5. ここで注意を要する点を三つあげておきたい。

第1は、農業データ体系の基礎概念の陳腐化は、ほかならぬ、伝統的家族農場の急激な分解の進行によってもたらされているという事実である。

第2は、このようなデータ体系の基礎をなす理論的概念の問題に集中的に光をあてて、そこからデータ体系の再編を構想するという立場は、ほかならぬ、我々の「統計の信頼性の批判」の視角と共通のものだという点である。

そして、社会科学の過程・方法の全体的関連の中におけるデータ体系の位置の検討にも併せて目がむけられている点も興味をもたれるところである。

さらに第3点として、このデータ体系の危機を告白した農業経済学会経済統計委員会の1972年報告には明瞭な前史があることを指摘しておきたい。

それは、1959年の農業経済学会年次大会でも報告が行われたPhilip M. Raup（ミネソタ大学教授）の「農業の構造変化と研究上のデータ要求」（J. Farm Econ. 41:1480-1491, 1959）という先駆的な研究である。

1959年のラウプの問題提起以来、アメリカでは現実の農業構造の急速な変化の進行とともに、農業経済のデータ体系をめぐる論議が、学会や連邦統計機関や統計利用者の中で、次第に輪を大きくひろげてきたのである。

そして、本書「農業経済の情報体系」の主要執筆者であるM. L. Upchurch およびJ. T. Bonnen の両氏が、その論議をリードしてきたと言ってよい。

両氏とも現行の農業経済データ体系の陳腐化をもっとも激しく批判する代表的論者なのである。

6. 本資料の訳出は喜多克己が担当した。

第1章 農業経済データの発展

M. L. アプチャーチ

1. 農業経済データの位置

データは経済分析の原材料である。データは叙述を内容のあるものにする。データが正しく整理されるならば問題の所在と問題解決の方向が示される。データなくして農業経済学の問題を考えることは困難であろう。

事実、農業経済学者が社会科学における量的分析の方法を開拓してきたのである。

どの農業経済学者も多様で多量なデータを容易に入手することができるとはいえ、おそらく、正確には、自分の望むあらゆるデータを、自分の望む形で、又は望む時に手に入れた経済学者はいままでになかったであろう。

現在の農業経済データ体系の発展は、大部分は、第2次大戦以前に生じた。

1839年センサスから始まり、とくに、1862年の農務省の創設後、農業データの適用範囲、正確性、領域について着実な改善が実現されてきた。大巾な改善が、農業経済局(BAE)の創設とともに1920年代および1930年代を通じて生じた(BAEの創設は1922年)。当時の慢性化した経済問題に没頭した農業経済学者はどんな部面についてもよりよいデータを求めたのである。

農業統計家と経済学者がしばしば同一人であったのはそんなに昔のことではない。しかし、統計的サンプリングやデータ収集、加工、分析における専門化の増大と共に、データ収集と経済分析の制度的、知的分離が、とりわけ1950年代の初めから拡大してきた。

これがデータ体系の設計にかんする経済学者と統計家の相互依存の意識を弱めてきた。

一方、農業経営の専門化、農業関連事業の役割の増大、政府の役割の変化が経済データに対する要求を変えてきている。

第二次大戦後ずっと、作物の推計に対する全面的信頼は農民からデータを収集する郵送調査票におかれてきた。その大きな長所は低コストという点にあった。

合衆国には、その初期の頃から、自分の政府にすすんで情報を与える教育のある農民がいたし又、信頼できる、費用の安い郵便事業があったので、郵送調査の方法はデータを得るのにふさわしいものであった。

この方法は農業の技術や構造の変化が加速されはじめた第2次大戦のはじめの頃までは十分であるようにみえた。

しかし一層正確で、一層信頼できる推計が要求され、確率標本が農場、面積、樹木、家畜頭数の推計のため必要になった。

農場と農村社会の統計は一部分は農業センサスのような定期的調査の産物としてひき出されてきた。

しかしこれらの調査はますます商業的農業を対象とするようになっていく。その他の農村社会データは人口センサスおよび単発的な調査からひき出されてきた。社会データや人口統計データの要求はここ10年の間に急速に増大している。

第2次大戦以降の経済学者のモデル・ビルディングへの没頭はモデルとデータの相対的重要性について若干の混乱をもたらしている。モデルを利用する経済学者の熱心さは時には、疑わしいデータの適用をもたらした。貧弱なデータからひき出される結論は、モデルの複雑性とは無関係に、又貧弱なものなのである。

作物・家畜データ収集にかんする連邦・州の協力協定は、第一次大戦後いくつかの州で始められたのであるが、これは1946年の農産物販売法（Agricultural Marketing Act of 1946）の通過によって新しい刺戟を与えられた。そして多様な農業データ計画が法の規定によって連邦・州半々の資金ではじめられた。

今日、連邦・州の協力協定は、47の州－41の州農務部と6つの州立農業大学又は試験場において農業統計の収集に責任をもっている。

この協力の試みは、作業の重複を避け、農民の報告負担を減じ、連邦政府にも州政府にもそれぞれが個々独立して与えることができるよりも広い範囲の問題をカバーしたよりよいデータを与えている。

作物・家畜の推計やマーケット・ニュースのためのデータ体系は、長い間に経済組織や農業の効率と関連したデータ体系からひどく離れてしまった。

農業データ体系は、農業経済の構造における大きな変化から生じた経済分析の要求の変化に歩調をあわせるよりも、むしろ商品統計の利用者の要求に安易に応じてきたのである。これらの欠陥は1972年の農業経済学会経済統計委員会の報告『わが陳腐化したデータ体系：新しい方向と好機』において簡げつに要約された。

本質的問題は、その産業が著しく変貌してしまったのに、これに対応しない陳腐化した概念が用いられているという点にある。

2. 農業センサス

一世紀以上にわたって、農業センサスは農業と農場人口に関する経済データの基本的源泉であった。5年ごとに行われるセンサスは全国にわたる郡データの唯一の源泉であった。その他の大部分のデータ源は各種タイプのサンプルに基礎をおいているが、それらは、州、大地域又は全国のベースについてのみ信頼できる推計を与える。

センサス農場の定義は時々変ってきた。ある農業経済学者は、センサスが他の職業や収入源の付け足しに少しばかり農業をやっており、とても農場などとは言えない農村住居を「農場」の定義に含めていると言う。

こうして、農場数と農場人口は政治的又はその他の理由からふくらまされていると主張する。又、別の経済学者は、いかに生産高が小さくとも農企業用地となるどんな農村住居も農場であるとして「定義」を支持している。農場定義をめぐる議論は、一部は農業部門の構造変化によって、又、一部はセンサス調査のコスト増大によって、さらに一部は、農村人口の性格変化によって近年、大変はげしくなってきた。

農業における専門化の増大と多くの機能の農場外への移行のゆえに、現在の農場はいよいよ伝統的な定義に適合しなくなってきた。これは、とりわけ、高度に専門化された生産地帯であるカリフォルニアやフロリダにおいて、又、ブロイラー生産、肉牛肥育、種苗園や観賞用作物のような部門において事実である。

農業センサスは、伝統的に、きめられた定義に該当するすべての場所または事業所にかんする悉皆調査であった。

1945年にセンサスは若干の項目を得るのにサンプリングを利用しはじめた。主要な動機は調査コストを低減させることにあった。

調査コストを低減させるためにもう一つの方法が試みられた。すなわち1964年センサスのさい、回答者は調査票を郵送され調査員が訪れる前にそれに記入しておくように求められた。

これは調査員にとっては時間の節約をもたらしたが回答者のより大きな偏倚の原因となった。1969と1974年のセンサスは小規模農場については、簡略調査票を用いたが、殆んど完全に郵送による回答に依存した。

この郵送回答への依存は、實際上、1969と1974年センサスをそれらが代表すると思わ

れる農場の母集団にかんする十分な知識のないサンプルにしてしまった。

1920年代以降、農業センサスは農場人口にかんするデータの主要な源泉をなしてきた。しかし、農場人口は、かつて合衆国においてそうであったような特有の集団ではなくなった。それどころか、若干の農業経営者は農場に居住せず、農場に住居する若干の人々は農業経営者ではなく、又、農村の世帯のうち生計のため農業経営に依存する世帯はますます少数になっている。

経済、福祉の政策や計画は農場人口という点にだけ焦点を合わせるのではなく、ますます、集団としての農村人口に焦点を合わせるようになっている。

さいきん、若干の農業経済学者は、農業という産業のすべての部門に関係している人々および農村住民の福祉に関心を持つ人々にとってセンサスが必要なデータを供給しているかどうかという点からセンサスの有効性を問題にしている。

たとえば、センサスは主として“農場”のセンサスであって“農業”のセンサスではない、しかも、他の経済センサスと調整されていない。

農業センサスに伝統的に含まれている農場人口についての情報も、農村福祉や農村開発に関心をもつ人々の要求に十分に役立つにはほど遠いものである。

センサスに関する農業経済学者の間の不満の増大は、将来に向けてのセンサスの大巾な変化の前兆である。

3. 展 望

第二次大戦後の四分の一世紀の間、合衆国の農業経済学者は、自らが自由に利用しうるデータの豊富さという点ではかの分野の大部分の同僚よりもめぐまれていた。

1920年代および1930年代にデータの主要部分が開発されていたとき、データと農業経済学者に求められたもっとも重要な問題は農場の業績および農場住民の福祉に関係した事柄であった。

農業センサスやその他多くの資料から集められるデータは、これらの問題に答えるのに役立つように設計された。

さいきんでは、農業経済学者は伝統的データ体系は陳腐化していると考えている。

その一つの理由は、農業という産業じたいが変貌してしまったことである。

農場はますます少数に、ますます大きく、ますます専門化してきている。

農業経営は、全体の農産業のなかでますます重要な役割を占める供給事業や加工・販売事業と一段とひろく、統合されている。結局、ますます少ない農村住民が農業に従事し、

ますます少ない農民が農場に住んでいる。さいきんの政策論議は、たんに農業経営についてだけでなく、食糧・繊維産業の全体およびその主要部門の業績をめぐって、又、たんに農業に従事している人々や農場に住んでいる人々についてだけでなく、農村住民全体の経済状態をめぐってたたかわされるようになってきた。

こうして、我国の伝統的なデータ体系は、農業経済学者が関心をもつ多くの現代的問題に対処しようとするさい必要な原材料を提供しなくなっている。したがって農業経済学者は、データの利用可能性、妥当性、適切性について—そう関心をもつようになってきた。

1972年農業経済学会・年次大会における経済統計委員会報告はわれわれの統計データ体系がもつ大きな欠陥について次のような見解を表明した。

“これらの課題はかなり重複しているけれども、旧来のデータ体系が陳腐化しているという全般的な懸念と、もっとも多くは、新しいよりよいデータに対する要求とにまとめることができる。

1. 陳腐化したデータ体系に代って新しい理論的基準を発展させることが緊急の必要事である。陳腐化がもっとも明らかなのは人口統計にかんする概念である。
2. 社会福祉にかんするより十分な測定が保健、教育、個人の安全、住宅、所得と雇用、レジャー、リクリエーションについて要求されている。
3. 計画に対する評価はますます増大する戦略的要求なのであるが、我々のデータ体系は現在、これにこたえる準備は殆んどない。効率を重視する伝統的な計画管理に対して自己資本比率と全般的な社会的業績についても大きな関心が追加されている。すなわち、公的計画についてばかりでなく医薬配給制度のようなわれわれの社会の特別の制度のいくつかにについても関心が増大している。●
4. 農村社会の所得と財産の配分について探求される必要がある。
5. 地方・地域開発データ体系を発展させるべきである。
6. 我々は農村地域における食糧・繊維部門以外の経済活動について、もっと十分な統計を必要としている。

我々のデータ体系における最大の欠陥は、社会問題を体系的な方法で概念化し、これを社会制度的現象を測定する統計体系の設計にかんする関心と十分に対応させていないことから生じていることは明らかである。

農業経済学者は社会の要求にこたえる適切なデータ体系の発展に寄与する大きな知的義務をもっている。

この知的義務はもし、国の農村地域が合理的な成長の存在しうる地域社会であるべきものとするならば、又、農村住民がいやしくも社会のほかの人々に匹敵しうる人間的福祉の水準を獲得すべきものであるとするならば、ぜひとも果されるべきものである。

農村社会学者が、これらのデータ体系を発展させる知的献身のなかで、近い将来に積極的な任務を果すのでなければ、社会統計の全国的体系の構成のなかで、農村社会の独特の特色は多分判別されなくなるであろう — この過程はすでにかなり進行している”

読者は上述の引用から、農業データ体系の一切が正しくなく望みはないのだという結論を出してはならない。そんなことは決してない。

わが農業データ体系は、いままで大いに役に立ってきたのである。

実際、農業経済学者は自らが自由に利用できるデータの豊富さという点で他の分野の社会学者から羨しがられてきたのである。

しかし、社会経済に変化が生じ、又、生じつつけていることが、われわれの伝統的なデータ体系を事実上、“陳腐化”しているのである。我々の現在のデータ体系が開発されたときの問題の多くは、農場の効率、集計量としての農場の生産性、農民の福祉と関連したものであった。

しかし、今日、我々はますます食糧・繊維産業としての業績に関心をもっている。すなわち、食糧と繊維という国民の必需品を合理的な価格で提供すること、わが国の輸入に対して支払を助ける輸出可能な商品を提供するという点での産業としての能力に関心をもっている。そして、そのさい、この産業内部の各部門間の関係、この産業と他の産業および国民経済との関係、又、この産業が我国の資源をどのように利用し、産業部門内部の関与者の間にどのように所得を分配するのかという点に関心をもっている。

しかし、現在の我々のデータはこれらの問題に十分にはこたえていない。

データ体系は、長い間には、経済研究の構造の変化とともに変化してゆくべきものである。そして、農業経済研究の構造の変化は科学的方法の発展、研究コストの増大、自動データ処理技術の発展と結びついている。

第2章 農業推計方法論の技術的發展

H. C. トレローガン, C. E. コーディル,
H. F. ハドレストン, W. E. キブラー,
E. ブルックス

アメリカにおける作物推計の準備は早くも1862年から新設の農務局長の事務室で始まった。

当初の推計のデータは、普通、各郡の農作物報告員による前年対比のパーセンテージにかんするデータから得られた。これらのデータは州推計のために集められ、順次、ワシントンで結び合わされて全国推計となったのである。長い間、このような人間の判断に対して最大の信頼が置かれてきたのである。

ところで1840年に農務省の外部ではじまった農業センサスは10年間隔（1920年以降は5年間隔）でアメリカ農業全体についての計算を与えていた。このセンサスデータは、サンプルを基礎とした農務省の作物・家畜の推計を調整するために利用されてきた。ところが、農務省の推計はセンサスの結果としばしば大きくいちがいをもたらしたのである。たとえば、1899年のとうもろこしの面積にかんする農務省の推定は82,109,000エーカーであったが、一方、1899年のセンサスにもとづき2年後に公表された面積は、これより16%大きい94,914,000エーカーであった。又、農務省の小麦面積の推計が44,055,000エーカーであったのに対してセンサス数字は52,589,000エーカーで19%も大きかった。

これらの経験のなかから世紀の変り目の頃一群の特別の現地機関が農作物報告員の報告の偏りを克服するためつくられた。

そして、1905年には、集団の判断によってあらゆるデータ・ソースから最良の推計を得ることを目指す現地の勤務者の実質的代表から成る作物報告委員会（Crop Reporting Board）が設立された。

そのしばらく後に、現在に至るまで永続している二つの有益な革新的制度がつくられた。

一つは、1914年の統計家にかんする公務員職任用制（Civil Service appointments）の導入である。この制度によって統計家としての資格をもった有能なスタッフの採用が保証されることになった。

もう一つは、1917年の連邦・州の統計事業にかんする協力協定制度の導入である。この制度によって、連邦と州の統計事業の重複が排除され両者の協力関係が保証されることにな

った。又、1924年には面積にかんする郵便配達夫調査（Rural Mail Carrier Survey）が始まった。これは郵便配達夫が彼の配達の道筋の農民の郵便箱に調査票を入れてゆくもので、その後、その他の農作物、畜産物の調査にも拡張された。

一方、農民の受取価格、支払価格にかんするデータの収集も逐次、整備されてくるとともに農産物の価格変動をあらわすため指数も利用されるようになった。

パリティ概念は、この概念が1933年の農業調整法に具体化されるや大いに関心を刺激した。1940年代には、データ収集、製表、分析、公表、普及など農業統計業務の全局面にわたって技術的發展が生じた。

まず、第二次大戦下においてイギリス、フランスによって要求される莫大な量の戦争資材を準備するためアメリカの産業が活動を拡大するにつれてアメリカの農業経営者にとって利用可能な労働者の数が急減した。

こういう事情のもとで、農業推計事業を農業雇用情報を獲得するところまで拡大すべしという要求が強まり、1941年秋には全国にわたって土地面積を基礎とする確率標本を用いる大規模な農業労働力一斉調査が行われた。

さらに、より広い範囲にわたる問題について追加のデータ要求が増大してきたので、全国的サンプルの創出をめざす計画が展開された。その結果、1944年に農務省とセンサス局の共同事業としてアイオワ州立大学によって農業マスター・サンプルの地域フレーム（Master Sample area frame）が開発された。これは全国的規模でのサンプルを与えるものであるが調査の実際上の利用にさいしては、これから副次サンプルが抽出されたのである。

一方、1944年のはじめから、連邦機関により行われる9人以上の人々に関係のあるいかなる調査も、その目的および手続きについて、予算局統計基準部の認可を得ることが必要となった。

この規定は、調査の企画、調査票の設計、抽出技術、行動手順、統計分析にかんする農業推計部（Agricultural Estimates）のスタッフの技術的能力の改善をもたらした。さらに、1950年以後の20年間には作物、家畜の推計に用いられる統計方法が劇的な変化をとげた。これの推進力となったのは第一に1951年の綿収穫高にかんする推計の失敗の結果ひきおこされた作物推計方法にかんする国会の査察であり、第二に、データの自動処理にかんする新しい展開があったことである。

第一の国会の査察は作物と家畜の推計に用いられる方法の更新を要求した。その結果、農務省の農業推計プログラムとして長期計画が作成された。

この計画は、プロジェクトA（面積、収穫高、家畜生産高と在庫）、プロジェクトB（農

業価格)、プロジェクトC(データの処理方法)、プロジェクトD(新規又は追加の推計方式)という四つの目的をもっていた。

プロジェクトAは推計計画のもっとも基本的な要求にこたえるものであると共に、他のプロジェクトの実施にたいする枠組を与えるものであった。

日時に、プロジェクトAは既知の精度をもつ独立の不偏推定値を与える全国的規模の確率方式の調査の実施と結びついていたので1940年代にアイオワ州立大学で開発されたマスターサンプル地域フレームを利用するように設計された。

又、1950年以後の20年間の生産高推計改善における最大の貢献は、実際の苗の測定と収穫前観察と最終の収穫のためのきわめて小さな標本プロットの利用による客観的な予測モデルの開発とその運用であった。

苗の特徴(エーカーあたり苗の数、本数、大きさ、実の重さ、節の数)にかんする横断面調査にもとづく客観的な生産高予測モデルが1950~1970の間に開発された。

合衆国における初期の技術的進歩の多くは地域サンプルの処理方法に関連したものでそれは個人面接によるデータ収集を必要とするものであった。しかし、一方、確率郵送調査とりわけそこでの無回答による偏りを最小限にする手続きの開発にも注意が払われた。又、1960年代はじめに一つの調査の設計に二つ以上の抽出フレームをもつ推計理論(Multiple Frame Estimation Theory)が開発された。これは統計報告局(SRS)とH. O. Hartley博士との協力によるものである。この方式は現在農務省の主要な推計作業に利用されている。

これまでみてきたような統計理論と方法論の発展と併行して1950年以後の特徴として、自動的データ処理の前進も目ざましいものであった。

1950年以後の農業推計方法論の変化はすべてデータの分析と変換にかんする近代コンピューターの能力に依存していたと云ってもよい。

おわりに将来の技術的進歩の可能性についてみておく。

1990年までに農業統計方法論に大きなインパクトを与えられる研究が二つの分野で進行中である。

一つは人工衛星(リモート・センシング)によるデータ収集の分野の研究である。

もう一つは作物の生理学的なモデルの作成にかんする技術開発の分野の研究である。これは作物の性格にかんする変数ばかりでなく環境にかんする変数も導入しようとするものである。これらの方法が作物の面積と生産高の推計を改善するうえで大きな価値を秘めていることはすでに明白なところなのである。

第3章 現代農業データ・ベース評価：情報体系的接近

J. T. ボネン

1. 農業情報体系の現状

1973年以降の世界食糧事情の不安定と不確実性は農業と食糧にかんする適確な情報を世界的規模での緊急関心事にしている。

農業経済学会経済統計委員会は、初期の農業データシリーズがかって果してきたのと同じような役割を、現在、果さなくなっているのは、データ体系が測定しようと企てた概念における陳腐化の増大であるという結論を下した。

“家族農場”という概念は、わが国の食糧・繊維統計の大部分が設計され収集される中心的な概念をなしている。しかし、それは食糧・繊維部門の現実についてのいよいよ陳腐な表現となってきた。 “家族農場”概念は、1920年代および1930年代という、それがもっとも増大をみた時期において農業データ体系の発展を導いてきた中心的概念であったが今日の食糧・繊維産業の構造は、かつて支配的であったそのような構造に対してはくげんと類似したものであるにすぎない。現実の世界が変わってしまったのに概念は変わらなかったのである。

合衆国の農業データ体系は1920年代から第2次世界大戦まで続く大恐慌の時期を通して現代的姿を与えられた。

この体系が、農業生産高、作物別面積、農場数、農場人口といったたんにものを数えるという体系をこえて、その能力を広げたのはこの時期を通してであった。

この当時、農業情報体系の中心におかれたのは農業経営者の所得と福祉であって、農場と世帯の間には1対1の対応関係が存在するものと仮定されていた。

牛や豚の頭数、馬鈴薯や綿花の面積や生産高といった生物学上又は自然科学上の概念に基礎をおく作物や家畜の推計は、現在、50年前いや10年前とくらべてさえも、はるかに正確な統計を与えている。

社会科学の概念に基礎をおく若干の統計も、又、いぜん多くの信頼性を保持しているし、ある場合には、事実上、改善されてもいる。

しかし、これは技術的、組織的な変化が急速でなかった分野にかんすることであって、

これらの変化がはげしい分野ではデータの概念上の陳腐化が生じている。

たとえば、農場段階のプロイラー生産統計は不十分であるし、農場段階でのプロイラー価格は殆んど収集することができなくなっている。又、食鳥、卵、果物、野菜などでは、投入面および生産面での契約や垂直的統合が生産や販売の統計の基礎にある伝統的な農場概念をほりくずしてしまったのである。そして、古いデータのなかには新しい問題に応じて概念的に再設計されてきたものもあるが、概して我々は同じ概念について色々な定義をいじくりまわして間に合せてきた。

たとえば、さいきんの農業センサスでは、農場が定期的に再定義されている。しかし概念じたいが利用上、除々に陳腐化してきているので、新しい定義がたとえいかほど賢明なものであっても我々はもはや大部分は存在しない何物かを測定していることになる。

データによって表現される対象について、又、対象の環境にかんして規範的又は積極的な変化が生ずるならば概念の陳腐化が生じるのはさけられない。

アメリカの農業が工業化されてくるにつれて専門化が生産、加工、販売という多くの機能を農場から分離し農業関連企業に移した。その結果、農業はずっと前に農場経営だけではなくなくなった。

我々は、いぜんとして、現代の食糧・繊維産業とその構成部門を記述し範疇化し、部門統計に一般的な概念の基礎を与える適切なパラダイムを持っていない。

農業センサスのもっとも価値ある局面は、おそらく、郡レベルの時系列の全国的に均一な源泉をなしてきたということであろう。しかしながら、センサスもほかの農業データと同じように重大な概念上の陳腐化という問題をかかえている。それは、農場という観察の基本単位にかんするものである。

ある分析家は、経済センサスの基本的観察単位をなす“事業所”概念が、農業経営者からデータを収集する新しい基本的観察単位を開発するさいの適切な出発点になると考えている。

全体の食糧部門のなかで、農業経営の経済活動は15%以下に低下してしまったのに、農業センサスはいぜん本質的に農場センサスである。

農業センサスをほかの経済センサスと同一時期に移行させる現在の計画も、共通の基本的観察単位を中心にして食糧部門の適切なパラダイムを打ち立てないかぎり統合された部門のデータをうることはできない。

1970年アメリカ経済学会の会長あいさつの中でワシリー・レオンチェフ（Wassily Leontief）は、経済学者の欠点は理論的概念を十分に検証することができない二次のデータで満足している点にあると指摘した。そしてそのさいレオンチェフは彼の告発状から農業経済学を免除した。そしてさらに、この学科が理論的分析と経験的分析との健全なバランスをもっている例外的なものであるとして農業経済学者に高い賛辞を与えた。しかし、1972年に農業経済学会経済統計委員会は、レオンチェフが我々に与えた榮譽は正しくは初期の世代に属するものであり、現代の農業経済学者はレオンチェフが他の部門の経済学者について述べているのと同じ誤りにおちっていると告白した。

我々は今日ではデータの設計と収集における初期の関心の大部分を失ってしまっている。我々が農業における大きな変化に合わせてその概念的基礎を新しくするのを怠ってきたことは今や明らかである。

2. データ・分析・情報：パラダイム

農業経済学会経済統計委員会が会った最初の問題は、データと情報とを等置する誤りであり、データと情報とが生産される過程での独特の段階を区別しないという混乱であった。

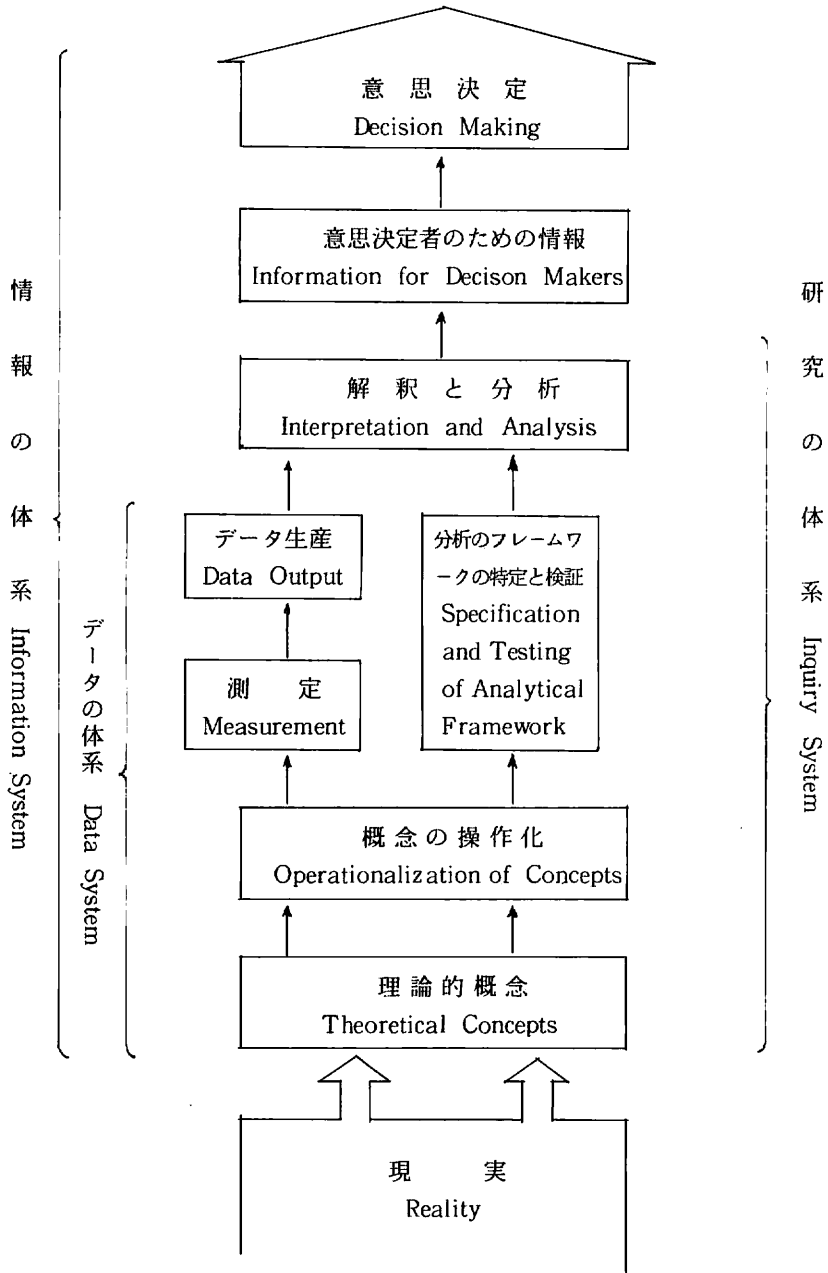
農業経済学者が関与する分析の過程（analytical process）又は研究の体系（System of inquiry）がデータの収集および情報の体系とどのようにかかわり合っているのかについても明白な理解を欠いている。

どのデータ体系も、経験的現象を一般に、量化された形の一定のカテゴリーの体系で述べることによって現実を表現しようとする試みを含んでいる。もし、生産されるデータの構成が内的に首尾一貫しており、現実に対して一定の照応をもつべきであるとするならば、**量化された概念**（quantified ideas）は相互に、又、述べられる現実の世界（reality of the world）に対して意味のある関連をもたねばならない。別言すれば、測定されるべき現実の世界にかんする一定の概念がなければならぬ。

しかし、現実、その変化と構成の点で殆んど無限である。したがってもし人間の頭脳がそれを体系的に処理しようとするならば現実**は単純化されるか又は範疇化されねばならない。**

このように、正確なデータを生産するために、人は暗示的にも、明示的にも、人間の頭脳がとらえうるやり方で、現実世界の無限に近い複雑性をかなりのていどに表現し、まとめることのできる一連の概念を發展させる。

Fig. 1. 農業情報体系
An agricultural information system



データとはこれらの概念の記号的表現である。もし、概念が、その現実世界についての合理的で正確な反映でないならば、データに傾注されるいかに複雑な統計技術又はどれほど多額の金銭もなんら有用な数字を生産しないであろう。(第1図をみよ)

データは概念を前提とするが、概念は、直接には測定しえない(換言すれば、げんみつに論理的意味では全く測定しえない)。

もっと正確に言えば、我々は、研究対象たる現実とできるかぎり高い相関をもつ経験的現象(変数)のカテゴリーを確立(定義)することによって概念を操作化する。

このように、我々が、何らかの現実を表現するデータを生産しうするためには、三つの異なる段階を経過せねばならない。

すなわち(1)概念化 (2)概念の操作化(経験的変数の定義) (3)測定である。

これらのデータ体系の構成要素のいずれの一つにおいて失敗あるいは不備があっても、生産されるデータの質と特徴は制約を受ける。

どの段階における不十分さも他の段階での改善や巧みな処理によって償われる度合はきわめて限られている。

こんなわけで、現代の統計方法論やデータ処理技術における大きな改善も概念のレヴェルでの不首尾を償うことはできないのである。

なぜならば、人がどんなに巧みに数字を測定したり処理したとしても、いぜん間違っただけを測定しているからである。

たとえば、パリティ価格概念は、たとえそれが、どんなに正確に測定されたにしても、今日の農民福祉の十分な表現にはならないのである。1973 農業法運営の中心概念をなす“生産費”は複雑な農業費用構造の表現としてあまりにも不適切であるので、それを操作化したり、測定したりするさいの、どんな才能をもってしても、その概念としての不適切さを埋め合わせすることはできないのである。

“データの信頼性”(reliability of data)という言葉が、このパラダイムにおいて三つの意味をもっていること指摘しておくことは重要である。

すなわち、一つは統計家が通常この言葉に帰属させている意味での測定の信頼性、(reliability of measurement) 二つは操作化の信頼性、(reliability of operationalization) 三つは概念の信頼性、(conceptual reliability)である。

データは即、情報なのではない。

情報の体系は、データの生産ばかりでなく、ある目的をもった政策決定又は問題解決の

文脈のもとでのこれらデータの分析や解釈を含んでいる。

データに対する要求は問題について決定をなす必要から生まれるものであるが、意思決定者は、ほとんど原資料を利用しない。もっと正確に言えば、特別の決定に対して又は意思決定者に対して、データの意味や形式を与えるためにデータを特定の問題の脈絡のもとに置くことによって情報に転換するなど、統計的、経済的分析から複雑というほどではないプログラムや政策上の評価にまでおよぶ解釈の介入行為がある。

データは記号によって表わされた人工物であって、それらの意味や評価の大部分は、それらが現われる情報体系の脈絡と設計から得られるのである。

このように情報とは形式を課し意味を与える過程なのである。したがって情報体系はデータ体系、データを解釈するために必要な分析およびその他の能力、そして、さいごに意思決定者を包含するのである。

農業経済学者が分析者の役割を果たす場合、彼はどのようにするのであろうか。一連の思考のなかで、我々は皆、分析と問題解決の仕方について、ほとんど同じ認識論的意義を習得した。すなわち、理論的概念という基礎があり、変数の定義をとおして操作化される現実表現を意図する理論の本体がある。それは、多くの場合、データ又は測定された変数の表現に対応せねばならないモデルの形式に特定化されている。

しかるに後に、モデル又は分析のフレームワークがデータと対照して検証され結論が引き出される。こんなわけで分析のこれらの三つの段階において、我々は、データ体系において観察されたのと同じ二つの構成要素—理論的概念とこれら概念の操作化—を見出す。

こうして、データ体系（図1の左側）においても分析的研究の体系（図1の右側）においても、我々は、同じ一連の理論的概念と、原理的には、これらの概念を操作化した同じ一連の定義を用いる。

経済理論と経済統計とは共通の概念的基礎の上で対応するのでなければ経験的分析と理論の間すなわち帰納過程と演繹過程の間には何らのかみ合いもありえない。

農業経済学者、とりわけ大学の経済学研究者は専門的研究にかんする分析のフレームワーク設定と維持に対して明らかに責任があるだけでなく、又、分析に経験的内容を与えるデータ体系の概念的基礎の設計に対しても責任がある。統計家だけがデータの設計と生産に責任があるのだという一部の経済学者が抱いている考えは、われわれ専門研究者の責任を著しく歪曲する見解であると言わねばならぬ。それは認識論上の弱点ばかりかデータ体系の史的発展に対する無理解さをも示している。

ごく初期の頃から、データ体系は、特定の問題を解決するために作り出されてきたし、

固有の学問分野の専門家はつねに、データ体系の設計にかかわってきた。

情報体系とは、知識を生み出し公的、私的な社会的決定に影響をおよぼす全体的過程なのである。

社会学者として、又、統計家として我々は社会的情報の処理に関心をもっている。

情報体系の設計とは、意思決定者、決定を基礎づける情報、データを情報に変換する分析の過程、データの設計と収集、これらの間の関係についての在り方を確定するものなのである。

十分に顧慮されねばならない体系としての情報体系の自覚的な設計とは、データが正確なものかどうか、又、決定を基礎づける情報が適切で信頼しうるものかどうか、あるいは確かに利用しうるものかどうかということである。

社会的意思決定のために収集されるデータは社会的理論の根拠をもたねばならない。データの収集がどれほど特別な目的のためのようにみえても、あらゆる測定行為は、意識的にか無意識的にか、測定行為以前に存在する概念上、評価上の構造によって導かれるものである。データや情報は、決して評価のないものでも理論のないものでもない。

一方逆に、あらゆる概念又は理論は、先行する経験的基礎——明示的にか経験的にか——を持っている。

このように理論とデータは認識論的に相互依存の関係にある。レオンチェフの主張するところは、あらゆる理論的定式の経験による検証は正しい概念にもとづいて設計されたデータによって行うことが必要であるということであったが、これは又、正確で有用なデータは、データが述べる現実についての正しい表現である概念のフレームワークのもとにおいてのみ収集することができるという農業経済学会経済統計委員会の陳述が含意するところでもあった。

データはそれが表現しようとする一定の現象をあらわす。その表現の質は概念的基礎、その操作化、測定の妥当性ということにはかならない。

食糧・繊維産業においてそうであるように、表現される現象が急速に変化するならば情報体系の概念的基礎は研究されている現実と問題の変化におくれないようにしばしば再設計されねばならない。

情報体系の概念的基礎が政策課題や農業の現実の変化におくれるならば重大な概念上の陳腐化が生じる、そして、その体系は問題の確認と解決又は管理にとって正確な指針としての役割を果す能力を喪失しはじめる。

第4章 農村社会経済統計

W. K. ブライアント

1. 社会経済統計の需要サイドの問題

農村地域および住民の社会経済的状態にかんする情報に対する需要の大きさおよび構造は商業的農業にかんする情報に対するそれとはきわめて対照的である。

商業的農業の国民的重要性、多くの農産物市場が地方的であるというよりむしろ全国的又は国際的であったという事実、産業としてのその状況が政治的かけひきを容易にしたこと、そして農村地域におけるその本来の圧倒的存在、これが世紀の変わり目の頃に農業統計に対する大きな需要を創り出し、その需要を連邦レベルに集中させて、主としてデータの収集、利用、普及に責任をもつ一つの連邦機関を生むことになった。1920年代末から、1930年代にかけて連邦政府が農産物価格政策に対して責任をもったこと又、1940年代と1950年代に農産物価格政策の重要性が段階的に拡大をみたこと、これらが商業的農業にかんするデータの需要を爆発的に作り出した。

ところが農村地域および住民にかんする社会経済統計に対する需要については事情は異なる。

この需要は地域全体、住民全体についての広い需要の一部にすぎないのである。したがってそれぞれが多様な需要をもつあらゆる産業、地域、住民と交錯している。だから、どのような院外団も産業グループが需要を作り出しそして集中させるようには強力ではない。保健、教育、福祉の政策は、いぜん、多くの住民やグループにとって、個別的、地方的なものであり、せいぜい州の仕事だと思われるので、社会的状態にかんする情報に対する需要の連邦レベルへの集中はおくれている。

現在、社会統計に対する需要が連邦政府に集中しているとすれば、それは保健・教育・福祉省への集中と住宅・都市開発省への集中である。

住宅・都市開発省の大部分の計画は、農村と都市の双方の住宅を扱う、しかし重点は政治的支持を与えている大きな都市におかれている。

商業的農業にかんする統計に対する需要が国の農業政策から出てくると丁度同じように農村地域および住民にかんする社会経済統計に対する需要も、保健、教育、福祉にかんする国の政策および地域の政策から出てくる。しかし、国の農業政策とその他の政策との

間の相異は必要とされる統計の種類という点にかんして大きなちがいを生み出している。

商業的農業に対する政策は地方市場のレベルでも全国市場のレベルでも一つの産業にかんする統計に対する需要をひきおこすのである。ところが、農村地域および住民にかんする社会経済統計に対する需要は地域経済政策と結びついている。

たとえば、1961 地域再開発法、1965 アパラチア地域開発法、1965 公共土木事業・経済開発法、1972 農村開発法のいずれについても、それらの計画によって要求される統計およびこれらの計画を評価するに必要とされる統計はいずれも地域および地方の社会経済条件に関係があるものである。

こういうわけで、商業的農業にかんする統計に対する需要とくらべて農村地域および住民にかんする社会経済統計に対する需要は、連邦レベルには焦点がおかれていないし、又連邦レベルについてみれば、多くの連邦機関の間に分散されている。その需要の大部分は州や地方のレベルで生じるのである。そして多くの産業部門にまたがっている。

ところで、人口・住宅センサス、Current Population Survey、労働統計局、保健統計センター、経済分析局などはすべて、地域と住民の社会経済的条件についての多くの統計を生産している。ところが、これらの統計の基礎をなす地域の成長や開発の概念の混乱、そして問題の定義における不一致が多くの人によって指摘されている。

1960 年以降、社会経済統計に対する需要が急速に拡大をみているが、それは1960 年代始めの地域の成長と開発の計画およびその結果として生じた社会計画が需要を刺激したためであった。

社会経済統計に対する需要は、商業的農業に対する需要とくらべて集中していないので需要者が、生産されるデータの質と量を管理するということにはなかったのである。

2. 社会経済統計の供給サイドの問題

社会経済統計の供給サイドの問題の第一の特徴は、供給の単位コストが労働コストを主要な推進力として、ここ 20 年くらいの間に急速に上昇していることである。

ここで決定的に労働集約的な個所といえばデータの収集にはかならない。悉皆調査法は大量の労働力を使用するので漸次、抽出方式に代ってきている。

又、人口の特定グループ（とくに大都市の非白人、血縁のない個人のカテゴリー）の系統的な過少計算が1960 年代にあらわれたので抽出手法への転換がいそがれたのである。

農務省とセンサス局によって「農場」の再定義がくり返され農場の最低限度がひきあげられてきたことによって、農村住民の特定部分にかんするデータの供給が縮小している。

この措置は、商業的農業の状態を測定するという点からすれば、農業統計の質を改善したことは確かであろうが、もはや、商業的農場とはみなされない経営や人口を排除することによって、農業センサスによって収集されてきた非商業的農場やそれにかんする人口のデータが収集されなくなったことを意味する。

したがって、商業的農業にかんする統計の基礎にある概念の改善は農村住民にかんする若干のデータを犠牲にすることによってなされたのである。

農務省が農村住民に対する連邦政府機関としての位置から商業的農業のための連邦政府機関へ撤退したことによって供給サイドの集中が助長され、農場人口ではなく農村人口にかんする統計の需要の衰退をもたらしたのである。

統計市場の供給サイドは需要サイドよりもはるかに集中化しており、連邦レベルの少数の機関に統合されている。

社会経済統計の供給サイドの決定的な特徴は、教育、保健、福祉、人力などの諸計画にわたり、社会的総資本の主要な供給者が公的部門であるという事実である。

したがって、住民と地域の社会経済的条件に焦点をあてた適切な統計情報体系は、住民と地域の両方にとってこのような計画とその効果を管理し、追跡し、評価するために必要な統計を与えねばならない。

このような計画は、一般に、連邦・州・地方政府間の協同事業である。

各連邦機関によって収集される統計は、予算要求の作成およびその正当化のために必要とされるものである。したがって、計画の管理や評価よりも計画の追跡のために必要とされる統計に力をいれる傾向がある。

3. 統計体系改善のための提言

農業経済学会社会経済統計特別委員会 (The AAEA Task Force on Social and Economic Statistics) は統計体系の改善について特別の勧告は何もしなかったが、いくつかの論文や議論がこの点にふれている。

たとえば、ある論者は、公的な投入産出計画を測定するのに利用できる統計および公的計画を評価したり管理するために政策分析家や計画管理者にとって利用できる統計の開発に関心を示している。

又、ある論者は地域と成長の概念の陳腐化について、又、それらにかんする問題の特定、概念、統計的測定について、ひきつづき意見の不一致があることに関心を示している。

地域や地方の問題あるいは地域や地方の成長概念について意見の一致がないならば地域

や地方の範囲にかんする統計を収集したり体系化したりするための総合化された体系的な活動も存在しよう筈がない。さらに、ある論者は、農村社会経済統計の体系は分散的構成をとるところに特徴があるとした。実際、地域や地方の分析および政策は地域と地方にかんするものにほかならないという事実こそ、それらが分散化された体系構成の一部をなすこと、そして、それらが直面する諸問題は、地域が異なるに応じて変わるものであることを意味している。

しかし、分散化された体系を開発するための資金配分は十分ではない。

分散化された体系が全国的に革新の手段となるべきものとするならば、我々はこの条件の作用が伝達され、批判され、国の情報体系への組み入れのために利用されうるような、制度上の手段を工夫する必要があるだろう。

さらにある論者がこの統計体系の欠点として指摘しているように、各種の貧困計画に適合するような人口統計が存在しないという点に注意する必要がある。農村地域の低所得人口を分析するためのデータが存在しないという指摘、又、一般人口統計と行政ファイルにもとづく連邦計画にかんする統計とを結びつける何らの手段もない、という指摘も重要である。

さいごに、地域・地方情報の熱心な利用者はぜひ、連邦統計諮問委員会に代表権をもつべきであるという提言がなされている。

これが実現すれば現在、軽視されている利用者グループを代表することになるだろうし連邦統計制度にかんする近視眼的見方も是されよう。

関 連 文 献 目 録

(訳者注)

1. この文献目録には、農業経済データ体系に関連する諸問題を論じた1940年頃から1976年頃までのほぼ40年間にわたる約830編の著書・論文目録が収録されている。
2. この文献目録のなかで、しばしば用いられている略語の意味は以下のとおりである。

Agr. Econ. Res.,	Agricultural Economics Research
Agr. Finance Rev.,	Agricultural Finance Review
Agron. J.,	Agronomy Journal
Am. Econ. Rev.,	The American Economic Review
Am. J. Agr. Econ.,	American Journal of Agricultural Economics
Am. Statistician,	The American Statistician
AMS,	Agricultural Marketing Service
ARS,	Agricultural Research Service
ASA,	American Statistical Association
BAE,	Bureau of Agricultural Economics
Econ. J.,	The Economic Journal
ERS,	Economic Research Service
FAO,	Food and Agriculture Organization
FCA,	Farm Credit Administration
J. Am. Stat. Assoc.,	Journal of the American Statistical Association
J. Econ. Lit.,	The Journal of Economic Literature
J. Farm Econ.,	Journal of Farm Economics
J. Finance,	The Journal of Finance
J. Law Econ.,	The Journal of Law & Economics
J. Pol. Econ.,	The Journal of Political Economy
J. Royal Stat. Soc.,	Journal of the Royal Statistical Society
PMA,	Production and Marketing Administration
Rev. Econ. and Stat.,	The Review of Economics and Statistics
SCS,	Soil Conservation Service
Southern Econ. J.,	Southern Economic Journal
SRS,	Statistical Reporting Service
USDA,	United States Department of Agriculture
Western Agr. Econ. Assoc.,	Western Agricultural Economics Association

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Abel, M.E.	豚生産に対する季節変動調和解析の適用	J. Am. Stat. Assoc. 57: 655-667	1962
Ackerman, J., and T. Riechen	農場分類のための経済的基準の発展	J. Farm Econ. 46: 1232-1237	1964
Adelman, I., and Z. Griliches	数量変化指数について	J. Am. Stat. Assoc. 56: 535-548	1961
Aines, R.O.	農地評価と農業計画	J. Farm Econ. 46: 1253-1259	1964
Allen, G., and M. Devers	家畜と飼料の関係 — 全国および州	USDA Statistical Bulletin 530	1973
Allen, G. and R. Mighell	飼養家畜別の尿素消費 (飼料年度 1965-66)	USDA Agricultural Economic Report 153	1969
Allison, H.E., C. J. Zwick, and A. Brinser	メニュー・データと食料消費研究への寄与	J. Farm Econ. 40: 1-20	1958
American Agribusiness Associates	新しい農業データ体系の要求	Washington, D.C. (謄写)	1973
American Agricultural Economics Association	わが陳腐化したデータ体系: 新しい方向と好機 — アメリカ農業経済学会・経済統計委員会報告	Am. J. Agr. Econ. 54: 867-880	1972
American Farm Economics Association	農務省およびセンサス局に対する未公表報告 — アメリカ農業経済学会・農業データ委員会		1957
American Statistical Association	労働統計局の雇用統計計画 — アメリカ統計協会・諮問委員会	Am. Statistician 2 (2): 21-22	1948
ASA	政府直接収集統計データに関する原則の陳述 — アメリカ統計協会・予算局所管統計政策諮問委員会	Am. Statistician 7 (4): 28, 33	1953
ASA	「報告書」 — アメリカ統計協会・センサス諮問委員会	Am. Statistician 5 (3): 10	1951
ASA	「報告書」 — アメリカ統計協会・センサス調査領域委員会	Am. Statistician 8 (2): 21, 10 (2): 16-17	1954 1955
Anderson, D.E., L.D. Loftsgard, and L.E. Erickson	ノース・ダコタ州における土地所有の特徴と変化 1945 - 1958	North Dakota Agricultural Experiment Station Bulletin 438	1962
Anderson, E.	合衆国における 1 人あたり食糧消費 1909 - 39	USDA, BAE (謄写)	1941
Andrelenas, P.	1971 年における農民の農業消費量	USDA Agricultural Economic Report 252	1974
Andrelenas, P., T. Eichers and A. Fox	1964 年における農民の農業支出	USDA Agricultural Economic Report 106	1967
Arkin, G.F., R.L. Vanderlip and J.T. Ritchie	グリーンソルガムの動態成長モデル	Transactions of the ASAE 19: 622-626	1976
Arnold, C.J., and R. Barlowe	農業経済学会誌: その初期の35年	J. Farm Econ. 36: 441-452	1954

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Arrow, K.J.	経済と情報	The Limits of Organization: New York: Norton	1974
Askew, W.	小麦の最多価格	Wheat Situation: USDA, ERS	1968
Bachman, K.L.	討論: より良い農業基本データのために	J. Farm Econ. 40: 224-227	1958
Bachman, K.L., J.C. Ellickson, W.D. Goodwell, and R. Hurley	農業の経済階級の提案	J. Farm Econ. 30: 680-702	1948
Backrock, S.D. and H.M. Scoble	調査票郵送の効率: 無回答の縮減の 管理	Public Opinion Quarterly 31: 265-276	1967
Bailar, B.A.	パネル・データの分析における共通 問題	Abstracts Booklet: ASA	1973
Bailar, B.A. and B.J. Tepping	1970 センサスにおける調査員の変動	Abstracts Booklet: ASA	1973
Bailey, M.J., R.F. Muth and H.O. Nourse	不動産価格指数構成の回帰法	J. Am. Stat. Assoc. 58: 933-942	1963
Bailey, W.R. and L.A. Jones	作物保険にかんする経済的考察	USDA ERS-447	1970
Baker, O.E.	わが農場生産物の生産と消費におけ る変化と人口の趨勢	Annals of the American Society of Political and Social Science	1929
Ball, D.S. and J.W. Wilson	地域社会の保健施設とサービス: 人 的資源の大きさ	Am. J. Agr. Econ. 50: 1208-1225	1968
Ball, J., ed., and R. Gardella, compiler	外国の統計記録	Stanford University, Hoover Institution	1967
Bancroft, T.A.	統計界とプライバシーの保護	Am. Statistician 26 (4): 13-16	1972
Banks, M.J., and G.M. Shapiro	Current Population Survey の 一次抽出単位の構成要素内、構成要 素間および様々の推定段階の結果を 含む諸分散	Abstracts Booklet: ASA	1971
Banks, V.J., and C.L. Beale	農場人口推定 1910-1970	USDA Statistical Bulletin No. 523	1973
Banks, V.J., C.L. Beale, and G.K. Bowles	農場人口推定 1910-1962	USDA, ERS-130	1963
Barlowe, R., and R.D. Vlasin	土地資源利用における環境特性指数 — 農業経済学会年次大会における 提出論文	College Station, Texas	1974
Barr, T.N., and H.F. Gale	食糧に関する消費者価格指数の四半 期予測モデル	Agr. Econ. Res. 25: 1-14	1973
Barton, G.T. and M.R. Cooper	戦時と平時における農場人口	USDA, BAE Farm Management Report 53	1945
Barton, G.T. and M.R. Cooper	農業生産と投入との関係	Rev. Econ. and Stat. 30: 117-126	1948
Barton, G.T., and D.D. Durost	農務省の新しい投入指数	J. Farm Econ. 42: 1398-1410	1960

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Bawden, D.L.	農村住民に対する負の所得税の意味	Am. J. Agr. Econ. 53: 754-760	1971
Bawden, D.L., and D. Kershaw	合衆国の低所得人口に関するデータ — 農業経済学会社会経済統計特別 委員会への提出論文		1973
Bayton, J.A.	農務省における消費者優先業務	Agr. Econ. Res. 2: 105-112	1950
Bean, L.H.	面積と収量の変動問題への簡易相関 法の適用	J. Am. Stat. Assoc. 25: 428-439	1930
Beck, F.V.	現行地方データを一層利用性の高い 有用なものにするために	J. Farm Econ. 37: 1030-1037	1955
Becker, J.A.	討論：農業統計	J. Farm Econ. 33: 806-807	1951
Becker, J.A. and C.L. Harlan	1920年以降の作物・家畜報告の展開	J. Farm Econ. 21: 799-827	1939
Been, R.O., K. Ogren, K. Parr and B. DeLoach	食糧品の農民と消費者間の価格開差 1913~1944	USDA Miscellaneous Publication 576	1945
Benedict, M.R.	センサス局における農業統計の展開	J. Farm Econ. 21: 735-760	1939
Benedict, M.R., and G.M. Kuznets	より良い農業基本データ：若干の可 能な処理	J. Farm Econ. 40: 208-221	1958
Benedict, M.R., H.R. Tolley, F.F. Eliot, and C. Taeuber	新しい農場分類の必要性	J. Farm Econ. 26: 694-708	1944
Bergmann, B.R.	エコノミストは失敗したか？ 東部 経済学会における会長あいさつ		1974
Beringer, C.	農業における水の生産関数決定のた めの経済モデル	California Agricultural Experiment Station, Giannini Foundation Research Report 240	1961
Berndt, E.R., and L.R. Christensen	一貫的労働投入総量指数の存在の検 証	Am. Econ. Rev. 64: 391-404	1974
Bertrand, A.L., and F.L. Corty, eds.	合衆国における農村の土地所有： 問題，計画，傾向への社会・経済的 接近	Louisiana State University Press	1962
Beverly, L.H.	公的制度のない地域社会における水 と汚水施設の状況	USDA Agricultural Economic Report 143	1968
Beyer, G.H.	住宅と社会	New York: Macmillan	1965
Beyer, G.H., and J.H. Rose	農場住宅	New York: Wiley	1957
Bhatia, K.B.	農場不動産の純投資にかんする農務 省シリーズ — 批判	J. Am. Stat. Assoc. 66: 492-495	1971
Bird, A.R.	合衆国農村地域における貧困	USDA Agricultural Economic Report 63	1964
Bird, R.	農場人口により支払われた州一般取 引高税の評価手続き	Agr. Finance Rev. 18: 29-36	1955
Bird, R.	合衆国における農場財産課税と評価 方法	USDA Statistical Bulletin 189	1956

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Bird, R.	農家更生資金計画適用地域の住宅の不十分性と世帯の貧困状態, 1970 州別	Rural Development Service, USDA Statistical Bulletin 520	1973
Bird, R., L. Beverly, and A. Simmons	合衆国における農村住宅事情	USDA Agricultural Economic Report 144	1968
Bird, R., and N. Kegley	わが農村を暗くしている住宅の貧困	A Good Life for More People – Yearbook of Agriculture: USDA	1971
Bird, R., and J.B. Perciful	農家更生資金計画適用地域の住宅事情, 1970	USDA Statistical Bulletin 492	1972
Birnbaum, A.	統計の基礎にかんするもう一つの見解	Am. Statistician 16 (1): 17–21	1962
Bitting, H.W., and R.O. Rogers	食糧としての麦の利用	Agr. Econ. Res. 15: 61–69	1963
Blackman, J.H.	経済の見通し	Southern Econ. J. 37: 385–395	1971
Blaney, H.F., and W.D. Criddle	消費的利用と灌漑水の要件の決定	USDA Technical Bulletin 1275	1962
Bodin, R.A.	州農業統計官の立場からの討論	J. Farm Econ. 35: 872–875	1955
Boger, L.L.	農業の経済指標 — 賞賛され評価されているもの	J. Farm Econ. 43: 430–439	1961
Boger, L.L.	討論: 農業の変化に伴う要求の変化	J. Farm Econ. 48: 1682–1686	1966
Bolling, R.	経済政策の形成における統計の役割	Am. Statistician 10 (3): 7–9	1956
Bonnen, J.T.	農村の貧困: 計画と問題	J. Farm Econ. 48: 452–465	1966
Bonnen, J.T.	センサス・統計小委員会における陳述 — 1974 農業センサス: 郵政省・民間サービス委員会公聴会	House of Representatives, 93rd Congress, 1st Session	1973
Bonnen, J.T.	農業および農村生活にかんする情報の改善	Am. J. Agr. Econ. 57: 753–763	1975
Bonnen, J.T.	国の農業データの収集, 分析, 決定にかんする情報体系的処理 — 低所得国における農業開発のための最小限の情報体系にかんする研究会への提出論文	Agricultural Development Council	1976
Bonnen, J.T.	農業にかんする意思決定者のための現行データ・ベース評価: 情報体系的接近	A Survey of Agricultural Economics Literature, vol. 2. Quantitative Methods in Agricultural Economics, 1940s to 1970s: University of Minnesota Press	1977
Borum, C.J.	ミシガン州における豆作の洪水被害の推定	Agr. Econ. Res. 3: 16–17	1951
Borum, C.J.	討論: 地域別の新しいデータ要求 — それらはどのようにしてみたさされているか	J. Farm Econ. 37: 1056–1057	1955
Bosecker, R.R., and B.L. Ford	層化された重複領域をもつ多重抽出枠推計	Abstracts Booklet: ASA	1976

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Bottum, J.C., and J. Ackerman	合衆国における現行の地域データの 経過と将来の必要性	J. Farm Econ. 40: 1772-1778	1958
Bowman, R.T.	連邦統計体系の将来の発展のための 選択の岐路	J. Am. Stat. Assoc. 63: 801-816	1968
Bowman, R.T., and M.E. Martin	失業統計特別報告: 意味と測定	Am. Statistician 16 (4): 14-22	1962
Boxley, R.F.	農場規模と農場数の分布	Agr. Econ. Res. 23: 87-94	1971
Boxley, R.F., Jr., W.L. Gibson, Jr., and B.R. Hoffnar	非ランダム調査データへの確率論分 析の適用	J. Farm Econ. 46: 835-840	1964
Boyne, D.H.	農場経営者の実質的富裕状態の変化 1940-1960	Michigan Agricultural Experiment Station Technical Bulletin 294	1964
Brake J.R.	農場経済と全国経済政策 — 理解に おける若干のギャップ	Am. J. Agr. Econ. 56: 1056-1062	1974
Brake, J.R., and P.J. Barry	農業部門の資金循環社会勘定: 意見	Am. J. Agr. Econ. 53: 665-668	1971
Brandow, G.E.	食糧価格開差データの点検と評価 — 農業経済学会経済統計委員会お よび農務省E R Sによる特別委員会 報告		1976
Breimyer, H.F.	これがマーケット・ニュースだ	Agr. Marketing 12: 8, 9, 13	1967
Breimyer, H.F.	実現農場所得: 旧式な概念? 意見	Am. J. Agr. Econ. 50: 432-434	1968
Brooks, E.M.	一般統計調査	Agr. Econ. Res. 1: 37-47	1949
Brooks, R.M., V.D. Ryan, B.F. Blake, and J.R. Gordon	1973年インディアナ地域社会選好研 究に使用された方法の説明と評価: 郵送調査	Purdue University Agricultural Experiment Station Bulletin 53	1974
Brown, J.D.	消費者需要におよぼす健康障害の 「おそれ」の影響	Am. J. Agr. Econ. 51: 676-678	1969
Brynant, W.K.	社会経済統計にかんする時機と需要 の意義の増大 — 農業経済学会, 社 会経済統計特別委員会のための作成 論文		1973
Budd, E.C.	所得の規模分布評価のためのマイク ロデータ・ファイルの作成	Review of Income and Wealth 17: 317-333	1971
Bullock, J.B.	農業生産予測において誤差がひきお こす社会的費用	Am. J. Agr. Econ. 58: 76-80	1976
Burk, M.C.	食糧の消費とその利用の研究	J. Farm Econ. 38: 1736-1746	1956
Burk, M.C.	地域食糧消費の研究	J. Farm Econ. 41: 1040-1049	1959
Burk, M.C.	消費経済学: 多角的接近	New York: Wiley	1968
Burk, M.C., and T.J. Lanahan, Jr.	農業経済学研究のための1955年食糧 調査の利用	Agr. Econ. Res. 10: 79-99	1958
Burnham, B.O., and T.L. Jones	住宅費用: 農村と都市の比較	Ohio Agricultural Research Bulletin 1022	1969
Burroughs, R.J.	農業バランスシートの利用と誤用	Agr. Finance Rev. 12: 22-32	1949
Burroughs, R.J.	農業バランスシート: 意味, 概念上 の限界, 利用	Agr. Econ. Res. 2: 86-95	1950
Buse, R.C.	郵送調査票の回答率の上昇	Am. J. Agr. Econ. 55: 503-508	1973

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Butz, D.E.	アグリビジネス界の要求	J. Farm Econ. 48: 1175-1178	1966
Callander, W.F.	編集者への手紙 — 農業統計家とアメリカ統計協会の計画	Am. Statistician 3 (4): 1	1949
Callander, W.F., and C.F. Sarle	農業経済局の一斉サンプリングにかんする計画	J. Farm Econ. 29: 233-236	1947
Carlin, T.A., and C.R. Handy	農業経済の概念と経済勘定	Am. J. Agr. Econ. 56: 964-975	1974
Carlin, T.A., and A.G. Smith	わが国農場所得勘定の新しい処理	Agr. Finance Rev. 34: 1-6	1973
Carter, H.O., and E.O. Heady	農業地域と商品部門に力点をかけた投入・産出分析	Iowa Agricultural Experiment Station Bulletin 469	1959
Caudill, C.E.	様々な抽出フレームの結合的利用	J. Farm Econ. 47: 1534-1539	1965
Cavin, J.P.	農業生産物の需要予測	Agr. Econ. Res. 4: 65-76	1952
Christensen, L.R.	農業生産性の概念と測定	Am. J. Agr. Econ. 57: 910-915	1975
Christensen, L.R., and D.W. Jorgenson	合衆国経済の私的部門の業績測定 1929 - 1969	Measuring Economic and Social Performance: M. Moss, ed. National Bureau of Economic Research	1973
Christensen, L.R., and M.E. Manser	生産費指数と合衆国の肉および肉製品の価格指数 1947-71	Household Production and Consumption: N. Terleckyj, ed. National Bureau of Economic Research	1975
Churchman, C.W.	調査体系の設計	New York: Basic Books	1971
Chryst, W.E.	土地価格と農業所得: パラドックス	J. Farm Econ. 47: 1265-1273	1965
Ciancio, N.J., and R.D. Tortora	地域の不偏推定値とリスト・フレームについて	Abstracts Booklet: ASA	1976
CIDA (Inter-American Committee for Agricultural Development)	ラテンアメリカの農業開発計画にかんする基本的情報一覧 — 地域報告	J. Farm Econ. 46: 872-873	1963
Clark, F., B. Friend, and M.C. Burk	1人あたり供給食糧の栄養価 1909 - 45	USDA Miscellaneous Publication 616	1947
Clausen, J.A., and R.M. Ford	郵送調査票の偏りの管理	J. Am. Stat. Assoc. 42: 449	1957
Clawson, M.	土地利用情報改善の最近の成果	J. Am. Stat. Assoc. 61: 647-657	1966
Clawson, M.	合衆国の農村貧困	J. Farm Econ. 49: 1227-1234	1967
Clawson, M., and C.L. Stewart	土地利用情報: より大きな均一の可能性を含む合衆国統計の批判的サーヴェイ	Washington, D.C.: Resources for the Future	1965
Clough, M.	初期徴候以後のとうもろこしの面積と生産の変化	Agr. Econ. Res. 3: 140-146	1951
Cochran, W.G.	抽出技術	New York: Wiley	1953
Cochrane, R.S.	多重フレーム抽出調査	J. Am. Stat. Assoc. 60: 656	1965
Cochrane, W.W.	農務省における経済学と統計学の役割	Agr. Econ. Res. 13: 69-74	1961
Cochrane, W.W.	政策形成と計画決定のため統計に要求される改善	J. Farm Econ. 48: 1654-1666	1966

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Cohen, M.R., and E. Nagel	論理と科学方法序論	New York: Harcourt Brace	1934
Commons, J.R.	資本主義の法的基礎	New York: Macmillan	1924
Conklin, M.J., and R.C. McElroy	オレゴン州における移動農業労働者住宅の調査	Oregon Agricultural Experiment Station Bulletin 602	1966
Cook, R.N., and J.L. Kennedy, eds.	総合的統一土地データ体系にかんする三州協議会議事録	University of Cincinnati College of Law	1966
Cooper, M.R., G.T. Barton, and A.P. Brodell	農業機械化の経過	USDA Miscellaneous Bulletin 630	1947
Cox, E.B.	Henry Moore と「純粹経済学の統計的補足」	Am. Statistician 16 (2): 10-13	1962
Crawford, T.L.	合衆国農業・食糧生産物の流通経費	Marketing and Transportation Situation: USDA, ERS, MTS-194	1974
Crecink, J.C., and H. Hoover	ミシシッピー州 Clay Hills 地域における農村世帯の所得と資源	Mississippi Agricultural Experiment Station Bulletin 604	1960
Crecink, J.C., and R. Steptoe	ミシシッピー・デルタ農村における人的資源 — 貧困層に重点をおいて	USDA Agricultural Economic Report 170	1970
Crom, R.J.	行動モデルを利用した経済計画	Agr. Econ. Res. 24: 9-15	1972
Cromarty, W.A.	合衆国農業の計量モデル	J. Am. Stat. Assoc. 54: 556-574	1959
Crosswhite, M., and G. Vaughn	農村と都市の境界における土地利用: デラウェア Newcastle 郡の事例研究	Delaware Agricultural Experiment Station Bulletin 340	1962
Crowley, W., Jr.	オレゴン州特定地域内および特定地域間の農業財産価格に及ぼす純不動産所得およびその他財産特性の影響 1965-69 (未公表学位論文)	Oregon State University	1972
Daft, L.	農村地域の公的政策: 社会経済統計の若干の含意 — 農業経済学会社会経済統計特別委員会への提出論文		1973
Daly, R.F.	食糧・繊維の将来需要: 商業的農業に対する政策, その経済成長と安定に対する関係	Joint Economic Committee, 85th U.S. Congress, 1st Session	1957
Daly, R.F.	長期経済計画: 検討と評価	Agr. Econ. Res. 15: 113-121	1963
Daly, R.F.	全国農業見通しにかんする最近の問題点	J. Farm Econ. 48: 1167-1174	1966
Daly, R.F.	入手データの効率的利用 — 全国マーケティング事業研究会への提出論文	Asheville, N.C.	1969
Darr, D.R.	北西部森林業の生産, 価格, 雇用, 貿易 — 1971年第4・四半期	USDA, Forest Service, Pacific Northwest Forest and Range Experiment Station	1972
David, M.	貧困民にかんする政策関連データ改善の戦略	Am. Statistician 30: 129-133	1976

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Davis, W.D., Jr., and F. Miller	ミズーリ州における土地価格の趨勢	Missouri Agricultural Experiment Station Research Bulletin 686	1959
De Leeuw, F.	生産能力の概念	J. Am. Stat. Assoc. 58: 826-840	1962
Demsetz, H.	情報と効率：もう一つの見解	J. Law Econ. 12: 1-22	1969
Denison, E.F.	生産性分析における若干の主要論点：Jorgenson と Griliches による評価の検討	Survey of Current Business 49 (5): 1-27	1969
Dewey, J.	論理 — 調査の理論	New York: Holt	1938
Dill, H.W., Jr.	洪水制御評価における写真判定	Photogrammetric Engineering 21: 112-114	1955
Dill, H.W., Jr.	農業にかんする空中写真の世界的利用	USDA Agriculture Handbook 344	1967
Dill, H.W., Jr., and R.C. Otte	西部諸州における田園の都市化	USDA, ERS Report 428	1970
Dill, H.W., Jr., and R.C. Otte	合衆国北東部における田園の都市化	USDA, ERS Report 485	1971
Dovring, F., and W.H. Scofield	イリノイ州における農場不動産の販売	Illinois Agricultural Experiment Station Bulletin 697	1963
Doyle, Sir Arthur Conan	Sherlock Holmes の冒険：ボヘミアのスキヤンダル	The Complete Sherlock Holmes New York: Doubleday	1930
Ducock, L.J., and G. Bancroft	農業における無給家族労働測定を試み	J. Am. Stat. Assoc. 40: 205-213	1945
Ducock, L.J., and M.J. Hagood	経済政策に関連した労働力データの目的, 利用, 類型	J. Am. Stat. Assoc. 41: 293-302	1946
Ducock, L.J., and M.J. Hagood	労働力の定義と測定	Social Science Research Council Bulletin 56	1947
Dunn, E.S., Jr.	国立データセンター提案の検討 — コンピューターとプライバシーの侵害, 政府活動委員会の小委員会公聴会	House of Representatives, 89th Congress, 2nd Session	1966
Dunn, E.S., Jr.	国民経済計算：統合的統計情報体系発展の事例研究	Survey of Current Business 51 (7): 45-64	1971
Dunn, E.S., Jr.	社会情報処理と統計体系 — 変更と改革	New York: Wiley	1974
Durost, D.D.	地域別農業生産指数 1939 - 1958	USDA Statistical Bulletin 273	1960
Durost, D.D., and G.T. Barton	農業生産高にかんする資料の変化	USDA, ARS Production Research Report 36	1960
Dwoskin, P.B., and M. Jacobs	ポテト・フレーク — 乾燥マッシュポテト：ニューヨーク州 Binghamton, Endicott, Johnson 市における市況と消費者の受入れ	USDA Marketing Research Report 186	1957
Dyer, D.R.	家畜資本形成 — 予備報告	Western Agr. Econ. Assoc. Proceedings	1975
Ebling, W.H.	政府は何故, 作物報告と予測をはじめたのか	J. Farm Econ. 21: 718-734	1939

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Ebling, W.H., and H.L. Ahlgren	全国, 州, 郡レベルの農業データに 対する要求	J. Farm Econ. 36: 1226-1239	1954
Ebling, W.H., and H.L. Ahlgren	研究データを得るための統計計画に おいて必要な若干の展開	J. Farm Econ. 41: 1506-1518	1959
Eckler, R., and C. Taeuber	センサス局の最新の統計	J. Am. Stat. Assoc. 49: 348	1954
Edgington, E.S.	中心的傾向と変異性における開差の 結合分析	Am. Statistician 17 (3): 28-30	1963
Edwards, A.D., and D.G. Jones	サウス・カロライナ州の住宅: その 社会経済的背景	South Carolina Agricultural Experiment Station Bulletin 511	1964
Edwards, C.	農村経済指標体系	J. Farm Econ. 51: 1202-1205	1969
Edwards, C.	地域経済開発 — 農業経済学会社会 経済統計特別委員会への提出論文		1973
Egbert, A.C.	農業の集計量モデル — 経験的推定 と若干の政策上の意味	Am. J. Agr. Econ. 51: 71-86	1969
Ehlers, W.F.	多湿地域灌漑のかんばつ確率の経済 的意味	J. Farm Econ. 42: 1518-1519	1960
Eisgruber, L.M.	農業情報体系のミクロおよびマクロ 分析の可能性	J. Farm Econ. 49: 1541-1552	1967
Eisgruber, L.M.	アメリカ合衆国における経営情報と 決定制度: 歴史的展開, 現状, 主要 な論点	Am. J. Agr. Econ. 55: 930-939	1973
Eley, C.	農産食糧の包装材料費	Marketing and Transportation Situation: USDA, ERS.	1971
Elrod, R.H., and P.E. LaFerney	部門所得と雇用乗数: 国民経済に対 するそれらの相互作用	USDA Technical Bulletin 1421	1970
Erickson, C.E.	アグリビジネス設計に対する経済統 計の充足性	Am. J. Agr. Econ. 53: 912	1971
Evans, J.A., and W.F. Hughes	生産費, 資源報酬, その他経済的特 徴 — 商業的綿作農場, テキサス南 部高原 1966-69	USDA, ERS Report 478	1971
Ewing, J.A.	討論: 高度の農業専門化の分野にお ける地方データの要件	J. Farm Econ. 38: 1471-1474	1956
Ezekiel, M.	多変量曲線相関処理の方法	J. Am. Stat. Assoc. 19: 432-453	1924
Fabricant, S.	生産性変化の基礎事実	National Bureau of Economic Research	1959
Fellegi, I.P.	統計の秘匿性にかんする論点	J. Am. Stat. Assoc. 67: 7-18	1972
Fellegi, I.P., and K.J. Krotki	カナダにおける1971センサス試行の 計画	J. Am. Stat. Assoc. 63: 750-751	1968
Ferber, R.	市場調査における統計技術	New York: McGraw-Hill	1949
Ferber, R.	抽出調査で得られた回答の信頼性に ついて	J. Am. Stat. Assoc. 50: 788-810	1955
Ferber, R.	総貯蓄率の解釈について	Am. Statistician 10 (3): 10-13	1956

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Ferber, R.	消費者調査における無回答項目	Public Opinion Quarterly 30: 399-413	1966
Ferguson, R.H., and N.P. Kingsley	メイン州における木材資源	USDA, Northeastern Forest Research Experiment Station, Resource Bulletin NE-26	1972
Ferris, J.	データの収集と分析における未解決 の諸問題	J. Farm Econ. 44: 1763-1772	1962
Finkner, A.L.	農村郵送調査における無回答偏倚の 調整	Agr. Econ. Res. 4: 77-82	1952
Fischer, L.K., R. Burkholder, and J. Muehlbeier	ネブラスカ州における農場不動産市場	Nebraska Agricultural Experiment Station Bulletin SB-456	1960
Fisher, J.L., and N. Potter	天然資源の世界的展望 — 2000年へ むけてのいくつかの需要計画と供給 指標	Baltimore: Johns Hopkins University Press	1964
Foote, R.J.	農場を定義し識別するさいの諸概念	USDA, ERS Report 448	1970
Foote, R.J., and L.H. Bean	作物生産量における毎年の変動はほん とくにランダムか?	Agr. Econ. Res. 3: 23-30	1951
Foote, R.J., and K.A. Fox	季節変動: 測定の方法と意味の考証	USDA Agriculture Handbook 48	1952
Foote, R.J., and H. Weingarten	面積と作況にかんするデータから生 産の変化を測定する代用的方法	Agr. Econ. Res. 10: 20-27	1958
Fox, A., T. Eichers, P. Andrelenas, R. Jenkins, and H. Blake	1966 農作物にかんする農薬の使用量	USDA Agricultural Economic Report 147	1968
Fox, K.A.	価格予測の正確性に影響を及ぼす諸 要因	J. Farm Econ. 35: 323-340	1953
Freeman, R.E.	農村住宅: 傾向と展望	USDA Agricultural Economic Report 193	1970
Freeman, R.E., and D.D. Miller	住宅の国民的目標	A Good Life for More People: USDA Yearbook of Agriculture	1970
French, C.E. and D.C. Kranz	農民調査の一方法としての電話イン タビュー	J. Farm Econ. 39: 153-155	1957
Frey, H.T.	リモート・センシングの農業への適 用 — 宇宙ステーションの可能性	USDA Agriculture Information Bulletin 328	1967
Frey, H.T., and H.W. Dill, Jr.	ミシシッピー州南部沖積峡谷におけ る土地利用の変化, 1950-69: リモ ート・センシングによる分析	USDA Agricultural Economic Report 215	1971
Frey, H.T., O.K. Krause, and C. Dickason	合衆国の特に農業に関連する土地と 水の主要な使用法, 1964年の総括	USDA Agricultural Economic Report 149	1968
Friend, B.	食糧の豊富化と強化	National Food Situation: USDA, ERS, NFS-106	1963
Fritsch, C., et al.	特別委員会報告: 食糧繊維体系の実 際的定義	USDA, ERS. (謄写)	1975

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Fromm, G.	複合体系モデルの経済理論に対する含意と経済理論からみた含意	Am. J. Agr. Econ. 55: 259-270	1973
Frye, R.E.	小売食糧店販売に対する試験的食糧スタンプ計画の影響	USDA Agricultural Economic Report 8	1962
Fuller, V., R. Gillett, E. Heady, P. Homcyer, D.G. Johnson	農業経済学会農業就業推定委員会の報告	J. Farm Econ. 35: 976-987	1953
Fuller, V., and W. Van Vuuren	農業労働と労働市場	University of California (Davis), Department of Agricultural Economics (謄写)	Undated
Gabbard, L.P., and R.G. Cherry	テキサス州における農牧場不動産にかんする課税の傾向, 1890 - 1946	Texas Agricultural Experiment Station Bulletin 702	1948
Gale, H.F.	農場食糧の流通経費とその構成	USDA Agricultural Economic Report 105	1967
Gale, H.F.	食糧支出に関連する産業の生産, 労働, 投入, 付加価値, 生産性	Agr. Econ. Res. 20: 113-133	1968
Gardner, B.	農村地域における人的資源統計 — 農業経済学会社会経済統計特別委員会への提出論文		1973
Gardner, B.	農村社会経済統計への長期的資金投下の戦略	Am. J. Agr. Econ. 57: 892-899	1975
Garlock, F., and P. Allen	1960農場負債抽出調査にかんする技術的評価	USDA, ERS Report 167	1964
Gertel, K.	経済決定にかんする水のデータ — 水と土地利用にかんする国際セミナー	Brookings, South Dakota	1962
Gertel, K.	水: 利用・供給・設計 — 専門用語と参考資料入門	USDA, ERS	1962
Gibson, W.L., Jr., C.J. Arnold, and F.D. Aigner	乾燥処理タバコ割当ての限界価格	Virginia Agricultural Experiment Station Technical Bulletin 156	1962
Gibson, W.L., Jr., and R.L. Chambliss, Jr.	ピーナッツ割当てと農地価格	Virginia Farm Economics, No. 196, Virginia Polytechnic Institute	1966
Gilbert, E.N.	情報理論概要	Am. Statistician 12 (1): 13-19	1958
Gilbert, S.J.	討論: 州および地方の作物・家畜報告にかんする必要な変更	J. Farm Econ. 37: 1058-1059	1955
Gillert, R.L.	農業にかんする調査と市場にかんするデータ要求	J. Farm Econ. 30: 271-281	1948
Gilliam, H.C., Jr., and J.W. Hubbard	サウス・カロライナ州沿岸平地部の特定綿花生産郡にかんする農地価格分析	South Carolina Agricultural Experiment Station Bulletin 554	1971
Gomme, F.R.	ソバ: その展望と問題の考察	Wheat Situation: USDA, ERS	1972
Gonzalez, M.E.	総合推計法の利用と評価	Abstracts Booklet: ASA	1973

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Goodsell, W.D.	農場の経費と収益：類型別規模別の商業的家族経営農場 1930-1951	USDA Statistical Bulletin 197	1956
Goodsell, W.D., W.H. Brown, H.C. Fowler, E. Hole, E.B. Hurd, Jr., J. Vermeer, and I. Jenkins	農場の経費と収益：類型別地域別の商業的家族経営農場 1955	USDA Agriculture Information Bulletin 158	1956
Grange, G.R.	マーケット・ニュースの紙面の変化	Agr. Marketing 12: 4, 5, 13	1967
Grange, G.R.	連邦-州マーケット・ニュース事業	Major Statistical Series of the U.S. Department of Agriculture, Vol. 10, Market News. USDA Agriculture Handbook 365	1972
Grievies, H.C.	悉皆センサスの代用としての無作為抽出法の点検	J. Am. Stat. Assoc. 49: 347	1954
Griliches, Z.	農業における投入の測定：批判的概観	J. Farm Econ. 42: 1411-1427	1960
Griliches, Z.	合衆国農業のつりあいのとれた生産性増大の源泉 1940-60	J. Pol. Econ. 71: 331-346	1963
Grove, E.W.	合衆国における農場人口、非農場人口、農場数 1910-1939	Income Parity for Agriculture: USDA, BAE. (謄写)	1939
Grove, E.W.	実現粗農業所得および純農業所得の四半期別推定	Agr. Econ. Res. 6: 65-76	1954
Grove, E.W.	実現農業所得：陳腐化した概念か？	J. Farm Econ. 49: 795-805	1967
Grove, E.W.	計量経済学者とデータ・ギャップ：意見	Am. J. Agr. Econ. 51: 184-188	1969
Guither, H.D.	イリノイ州農場経営者間における穀物市場ニュースに対する要求と選択	University of Illinois Agricultural Experiment Station AERR-103	1970
Gunnelson, G., W.D. Dobson, and S. Pamperin	農務省農作物予測の正確性の分析	Am. J. Agr. Econ. 54: 639-645	1972
Haavelmo, T.	農業と国民経済との相互依存関係	J. Farm Econ. 29: 910-923	1947
Hady, T.F.	農村と都市の境界農地にかんする特質の評価	Am. J. Agr. Econ. 52: 25-32	1970
Hady, T.F., and T.F. Stinson	農村と都市の境界農地にかんする課税	USDA Agricultural Economic Report 119	1967
Hagood, M.J.	一般目的の抽出調査	USDA, BAE. Processed Report	1945
Hagood, M.J., and E.H. Bernert	サンプリング層化の基礎としての構成要素指数	J. Am. Stat. Assoc. 40: 330-341	1945
Hahn, F.H.	若干の調整問題	Econometrica 38: 1-17	1970
Hair, D., and A.H. Ulrich	林産物の需要と価格状況 1970-71	USDA Miscellaneous Publication 1195	1971

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Halcrow, H.G., and T.A. Hieronymus	パリティ価格と経済的背景	J. Farm Econ. 41: 1289-1299, 1300	1959
Hale, R.F.	1920年以後の地方市場価格と農業労働の評価	J. Farm Econ. 21: 828-837	1939
Hall, G.E.	追跡調査データ収集にかんする最近の経験	J. Am. Stat. Assoc. 64: 696	1969
Hamlin, E.T.	合衆国における農村非農家住宅融資	USDA, ERS	1970
Hansen, M.H.	センサス情報の利用性を増進させる若干の新しい動き	J. Am. Stat. Assoc. 60: 662	1965
Hansen, M.H., and W.N. Hurwitz	抽出調査における無回答の問題	J. Am. Stat. Assoc. 41: 517-528	1946
Hansen, H., W.N. Hurwitz, and W.G. Madow	抽出調査の方法と理論	New York: Wiley	1953
Hardin, C.M.	攻撃にさらされている農業経済局(BAE): 評価の不一致にかんする研究	J. Farm Econ. 28: 635-668	1946
Haren, C.C.	今日的首都圏: 批判的再評価の必要	Abstracts Booklet: ASA	1975
Harlan, C.L.	農場家畜にかんする1945センサス調査	J. Farm Econ. 29: 791-710	1947
Harp, H.H., and D.F. Dunham	店頭売食糧と自家製食糧の消費者にとっての費用比較	USDA Marketing Research Report 609	1963
Harris, C.C., Jr.	パリティ所得価格	J. Farm Econ. 44: 141-156	1962
Hartley, H.O.	多重抽出枠調査——アメリカ統計協会ミネアポリス大会への提出論文		1962
Hartley, H.O.	討論: 農業統計収集のためのサンプリング・フレーム	J. Farm Econ. 47: 1542-1544	1965
Hartnett, H.B.	市場経済の調査公表	USDA, ERS Report 205	1965
Hathaway, D.E.	ミシガン州における乾燥豆産業に対する価格支持計画の効果	Michigan Agricultural Experiment Station Technical Bulletin 250	1955
Hathaway, D.E.	討論: 今次センサスによる追加データ	J. Farm Econ. 41: 1503-1505	1959
Hathaway, D.E.	農家と非農家との所得比較の改善と拡張	J. Farm Econ. 45: 367-375	1963
Hathaway, D.E.	農業経済学の経済学	Am. J. Agr. Econ. 51: 1011-1026	1969
Hathaway, D.E.	農村地域にかんする若干の特性	Labor Market Information in Rural Areas: Center for Rural Manpower and Public Affairs, Michigan State University	1972
Hathaway, D.E., J.A. Beegle, and W.K. Bryant	アメリカ農村の住民, 1960センサス・モノグラフ	U.S. Bureau of the Census	1968
Hayek, F.A.	社会にかんする知識の効用	Am. Econ. Rev. 35:519-530	1945

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Hayami, Y., and W. Peterson	公的情報サービスに対する社会的報酬：合衆国農産商品にかんする統計報告	Am. Econ. Rev. 62: 119-130	1972
Hayenga, M.L.	豚価格と評価の方法 — その正確性と正当性	Am. J. Agr. Econ. 53: 506-509	1971
Heady, E.O., and L. Auer	生産の科学技術への帰属	J. Farm Econ. 48: 309-322	1966
Heady, E.O., and L.G. Tweeten	農業産業の資源要求と構造	Ames, Iowa State University Press	1963
Heflebower, R.B.	価格測定の経済的評価	J. Am. Stat. Assoc. 46: 461-479	1951
Hein, C.J.	農村地域における特別区の機能と財源	Agr. Finance Rev. 22: 1-19	1960
Henderson, H.A.	テネシー州東部農村住民の資源と所得	Tennessee Agricultural Experiment Station Bulletin 312	1960
Hendricks, W.A.	標準を 100 とした供給および需要にかんする農業就業の水準	J. Am. Stat. Assoc. 42: 271-281	1947
Hendricks, W.A.	郵送調査における無回答による偏りの調整	Agr. Econ. Res. 1: 52-56	1949
Hendricks, W.A.	とうもろこし収穫にかんする客観的推定の妥当性	Agr. Econ. Res. 7: 69-72	1955
Hendricks, W.A.	客観的測定法による収穫予測	J. Farm Econ. 45: 1508-1513	1963
Hendricks, W.A., and H.F. Huddleston	綿花収穫の客観的予測の基礎	Agr. Econ. Res. 7: 108-111	1955
Hendricks, W.A., D.T. Searls, and D.G. Horvitz	農業調査において農場と農地を標本地域片に結びつける三つの方式の比較	J. Am. Stat. Assoc. 59: 588	1964
Hendrix, W.E.	アメリカ農業における低所得問題	United States Agriculture: Perspectives and Prospects, Columbia University	1955
Heneberry, W.H., and R. Barlowe	財産税としての農場不動産の評価	Michigan Agricultural Experiment Station Special Bulletin 439	1962
Herd, R.W., and W.W. Cochrane	農地価格と技術進歩	J. Farm Econ. 48: 243-263	1966
Herriot, R., and E. Spiers	Current Population Survey と行政資料との間の報告のくいちがいが世帯所得統計に及ぼす影響の測定	Abstracts Booklet: ASA	1975
Hickman, B.G.	生産能力推定の新しい方法について	J. Am. Stat. Assoc. 59: 529-549	1964
Hiemstra, S.J.	食糧消費, 価格, 意味	USDA Agricultural Economic Report 138	1968
Hildreth, R.J.	討論 : 包括的農業データ体系	J. Farm Econ. 49: 1558-1560	1967
Hildreth, R.J.	農業所得にかんする特別委員会報告 — 農業経済学会経済統計委員会および E R S 主催の特別委員会報告 (委員長 R. J. Hildreth)		1975

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Hildreth, R.J., and G. Worden	統計の定義の改訂：農場とは何か？ — アメリカ統計協会社会統計部会議事録		1976
Hirsch, H.G.	1950 世界農業センサス	J. Farm Econ. 29: 564-566	1947
Hirshleifer, J.	情報の私的・社会的価値と創意的活動に対する報酬	Am. Econ. Rev. 61: 561-573	1971
Hoag, H.M.	家畜市場ニュースの利用性と必要性：第2部 — 対人面接調査	Southern Illinois University, School of Agriculture Publication 34	1970
Hoffman, A.C.	討論：農務省内の農業経済学	J. Farm Econ. 48: 436-439	1966
Holmes, A.D.	カナダにおける農業統計のための標本抽出	J. Farm Econ. 33: 780-786	1951
Holmes, O.W.	貧困農場：算入されているのか，誤算されているのか又は，割引かれているのか？	J. Farm Econ. 51: 1557-1560	1969
Hoover, H., and B.L. Green	貧窮民に視点を果たしたオザーク農村地域の人的資源	USDA Agricultural Economic Report 182	1970
Horring, J.	一国規模における農業生産性測定のご概念	OECD Documentation in Food and Agriculture 57, Paris	1961
Hotelling, H.	統計方法と科学の原理	Am. Statistician 12 (5): 9-15	1958
Houck, J.P., and M. Soliman	合衆国主要農業価格指数の改訂：経験的分析	USDA, ERS, Unpublished	1971
Houk, H.J.	討論：豚の市場供給と価格の推定のための利用可能データの評価	J. Farm Econ. 39: 1408-1410	1957
House, P.	農村と都市の境界農地の課税にかんする州の行動	USDA, ERS Report 13	1961
House, P.	都市周辺農地にかんする特別評価：1965年メリイランド州の経験	USDA, ERS Report 358	1967
Houseman, E.E.	全国農場調査のための農業経済局の標本設計	J. Farm Econ. 29: 241-245	1947
Houseman, E.E.	標本調査の設計	Agr. Econ. Res. 1: 3-10	1949
Houseman, E.E.	市場調査における抽出の方法	Agr. Econ. Res. 2: 73-81	1950
Houseman, E.E.	無回答問題にかんする統計上の処理	Agr. Econ. Res. 5: 12-19	1953
Houseman, E.E.	最近の農務省における統計にかんする二三の前進	J. Am. Stat. Assoc. 50-581	1955
Houseman, E.E.	1955年農業経営者支出調査の標本設計	Estadistica 15: 591-600	1957
Houseman, E.E.	計量モデルのためのデータの源泉	J. Farm Econ. 46: 1400-1406	1964
Houseman, E.E.	測定手段としての調査	Agr. Econ. Res. 24: 87-92	1972

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Houseman, E.E., and J.A. Becker	農業調査の方法 100年の概観	Am. Statistician 21 (2): 15-21	1967
Houseman, E.E., and H.F. Huddleston	苗の寸法による作物収穫の予測と推定	FAO Monthly Bulletin Agr. Econ. and Stat. 15 (10): 1-6	1966
Houseman, E.E., and T.J. Reed	農場調査に対する確率地域抽出法の適用	USDA Agriculture Handbook 67	1954
Houseman, E.E., and H.C. Trelogan	農業地域抽出法完成への前進	Bulletin of the International Statistical Institute, Vol. 42, 1: 293-304	1967
Houthakker, H.S.	「実現」農業所得：陳腐化した概念？ 回答	Am. J. Agr. Econ. 50: 156	1968
Howe, E.C., and C.R. Handy	合衆国食糧・繊維部門の生産性推定にかんする目録と批判	Am. J. Agr. Econ. 57: 916-921	1975
Howe, E.C., C.R. Handy, and L.G. Traub	産業の資本金にかんする調査について	USDA, ERS Working Paper	1975
Huddleston, H.F.	果樹園調査に用いる方法	Agr. Econ. Res. 2: 126-130	1950
Huddleston, H.F.	新しい地域抽出フレームとその利用	J. Farm Econ. 47: 1524-1533	1965
Huddleston, H.F.	コロラド州サン・ルイス峡谷における点抽出法	Agr. Econ. Res. 20: 1-4	1968
Huddleston, H.F.	樹木あたり果実数の抽出における写真の利用	Agr. Econ. Res. 23: 63-67	1971
Hulten, C.R.	中間投入財の増殖計算法	Johns Hopkins University	1974
Hurlburt, V.L.	アイオワ州ストーリー郡における農場の購入 1940-48	Iowa Agricultural Experiment Station Research Bulletin 377	1950
Hurlburt, V.L.	所得接近法による農地評価理論について	USDA, ARS, Unnumbered report	1959
Hurley, R.	1950農業センサス計画	J. Farm Econ. 31: 1284-1293	1949
Hurley, R.	1954 農業センサス計画	J. Farm Econ. 36: 1240-1247	1954
Hurley, R.	1954 農業センサスの州および地方データの計画と公表	J. Farm Econ. 40: 1782-1786	1958
Hurley, R.	センサスの概念：過去，現在，将来	J. Farm Econ. 44: 616-621	1962
Hurley, R.	農業分類の基準に関連する諸問題	J. Farm Econ. 47: 1565-1571	1965
Hurley, R., and R.K. Smith	センサスにかんする新しい接近と方法	Agr. Econ. Res. 3: 113-118	1951
Hurley, R., T. Jabine, and D. Larson	1959 農業センサスにかんする諸研究の評価	J. Am. Stat. Assoc. 58: 554	1963
Hurst, R.L.	サウスカロライナ州北東海岸平地部における農村住宅	USDA Agricultural Economic Report 163	1969
Hurwitz, A.	消費者物価指数にかんする不変なものとの折衷的なもの	J. Am. Stat. Assoc. 57: 813-825	1962

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Ingram, J.J., and D. Prochaska	1969 農業センサスにおけるカバリッジの十分性の測定	Abstracts Booklet: ASA	1972
Irwin, G.D.	バランスシートにかんする三つの神話: 農業経済構造の変化	Am. J. Agr. Econ. 50: 1596-1599	1968
Ives, J.R.	牛の市場供給と価格の推定に利用しうるデータの評価	J. Farm Econ. 39: 1411-1418	1957
Jacobs, E.E.	1972-73 消費者支出調査にかんする経過報告	Abstracts Booklet: ASA	1975
Jebe, E.H.	一次抽出単位として郡を用いる副次抽出設計の評価	J. Am. Stat. Assoc. 47: 49-70	1952
Jebe, E.H., and E.S. Clifton	屠殺牛の産額と等級の推定	J. Farm Econ. 38: 584-596	1956
Jennings, R.D.	家畜別飼料消費量 1909-56: 全国水準における飼料, 家畜, 食糧の相互関係	USDA Production Research Report 21	1958
Jessen, R.J.	農業調査の設計にかんする実験	J. Farm Econ. 21: 855-863	1939
Jessen, R.J.	農業の実相を得るための標本調査にかんする統計上の点検	Iowa Agricultural Experiment Station Research Bulletin 304	1942
Jessen, R.J.	マスター・サンプル設計と農業経済学への利用	J. Farm Econ. 29: 531-540	1947
Jessen, R.J.	連邦農業センサスにかんする若干の不十分性	J. Am. Stat. Assoc. 44: 279-292	1949
Jessen, R.J.	無作為化された分枝抽出法による樹木の果実総数の決定	Biometrics 11: 99-109	1955
Johnson, D.G., and M.C. Nottenburg	農業就業推計にかんする批判的分析	J. Am. Stat. Assoc. 46: 181-205	1951
Johnson, G.L.	パーレー種葉タバコ管理計画: 生産と価格におよぼす全面的影響, 1933-50	Kentucky Agricultural Experiment Station Bulletin 580	1952
Johnson, P.L. ed.	社会生態学にかんするリモート・センシング	Athens: University of Georgia Press	1969
Jones, L.A.	農家任意抵当融資計画による農村自家融資	USDA, ERS Report 270	1966
Jorgenson, D.W.	経済時系列の最小分散, 線形不偏季節調整	J. Am. Stat. Assoc. 59: 681-724	1964
Jorgenson, D.W., and Z. Griliches	生産性の変化にかんする説明	Rev. Econ. Studies 34: 249-283	1967
Jorgenson, D.W., and Z. Griliches	成長計算にかんする論点: Edward F. Denison への回答	Survey of Current Business 52 (5): 65-94	1972
Jorgenson, D.W., and Z. Griliches	最終回答	Survey of Current Business 52 (5): 111	1972
Juster, F.T.	マイクロデータ, 経済調査, 経済知識の生産	Am. Econ. Rec. 60: 138-148	1970
Keith, K., and W.D. Purcell	農務省の牛屠殺データに起りうるギャップの意味	Am. J. Agr. Econ. 58: 568-571	1976

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Kelly, B.W.	フロリダ州柑橘生産予測の客観的方法	Estadistica 58: 56	1958
Kelly, B.W.	農場データ収集の無作為抽出法	J. Farm Econ. 45: 1515-1520	1963
Kendrick, J.W.	合衆国における生産性の趨勢	National Bureau of Economic Research, Princeton: Princeton University Press	1961
Kendrick, J.W.	経済勘定とその利用法	New York: McGraw-Hill	1972
Kendrick, J.W.	合衆国における戦後の生産性の趨勢, 1948-1969	National Bureau of Economic Research	1973
King, A.J., and R.J. Jessen	農業にかんするマスターサンプル	J. Am. Stat. Assoc. 40: 38-56	1945
Kirkbride, J.W.	無作為抽出法における回答問題	Am. J. Agr. Econ. 51: 1214-1217	1969
Kish, L.	傾向変量に対する面接者偏倚の研究	J. Am. Stat. Assoc. 57: 92-115	1962
Kizer, L.G.	討論: 包括的農業データ体系	J. Farm Econ. 49: 1553-1556	1967
Klein, L.R.	計量経済学はどこへ行く?	J. Am. Stat. Assoc. 66: 415-421	1971
Knutson, G.	冬あらしによる家畜損害調査	J. Farm. Econ. 31: 1276-1283	1949
Knutson, G., and F.K. Harmston	異質な農業の抽出にかんする諸問題	Agr. Econ. Res. 2: 98-100	1950
Koenig, P.	他国のデータ問題への合衆国の経験の若干の適用	J. Farm Econ. 33: 797-804	1951
Koffsky, N.M.	規模別, 農場所得類型にかんする若干の統計上の問題	J. Farm Econ. 29: 1257-1266	1947
Koffsky, N.M.	農場所得推定の方法と意味	J. Am. Stat. Assoc. 53: 581	1958
Koffsky, N.M.	次の四分の一世紀におよぶ農産物の将来需要	Dynamic of Land Use: Needed Adjustments: Ames, Iowa State University Press	1961
Koffsky, N.M.	分析的概念: 技術的変化と経済的発展によりひきおこされる変化	J. Farm Econ. 44: 625-632	1962
Koffsky, N.M.	連邦一州農業経済情報事業とは何か, そして何をするのか	J. Farm Econ. 44: 1754-1759	1962
Koffsky, N.M.	農務省内の農業経済学	J. Farm Econ. 48: 413-421	1966
Konyha, M.E.	中央東北諸州における職業再訓練は農村貧民のためになったか	USDA Agricultural Economic Report 204	1971
Kottke, M.W.	討論: 計量経済分析にかんする統計上の隘路	J. Farm Econ. 46: 1406-1410	1964
Kramer, R.C., and J.D. Shaffer	郵送調査の問題点	J. Farm Econ. 36: 575-589	1954
Kromer, G.W.	大豆加工業の構造変化	Fats and Oils Situation: USDA, ERS, FOS-253	1970

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Kroupa, E.A., and C. Burnett	マーケット・ニュース放送にかんするウイスコンシン州農民の利用と知識	University of Wisconsin, College of Agriculture and Life Science, Research Report R2506	1973
Krueger, P.F.	討論：農業統計界の変化	J. Farm Econ. 45: 1506-1507	1963
Kuhn, T.S.	科学革命の構造 (第2版)	Chicago: University of Chicago Press	1970
Kutish, F.A.	州および地方の作物・家畜報告にかんする必要な変更	J. Farm Econ. 37: 1050-1053	1955
Kuznets, G.M., and G. Harvey	カリフォルニア州における果実生産の予測	J. Am. Stat. Assoc. 48: 619	1953
Landsberg, H.H., L.L. Fischman, and J.L. Fisher	将来のアメリカにおける資源, 必要物の形式と入手可能性, 1960-2000	Baltimore: Johns Hopkins University Press	1962
Landau, E., and C.S. Brandt	大気汚染が農業に及ぼす損害推定のための調査の必要性	Biometrics 22: 952	1966
Lavell, R.	食糧消費分析のための新地域指数の採用	National Food Situation: USDA, ERS, NFS-89	1959
LeBovit, C.	外食された食糧	National Food Situation: USDA, ERS, NFS-132	1970
LeBovit, C., E. Cofer, J. Murray, and F. Clark	合衆国における家庭消費食糧の栄養上の評価	USDA, ARS, Household Food Consumption Survey, 1955, Report 16	1961
Lee, A.T.M., and K.L. Bachman	経済研究の基本データの源泉としての1950農業センサス	Agr. Econ. Res. 5: 45-52	1953
Lee, G.E., and R.C. Nicholson	カナダにおける管理情報(記録, データ, 決定)制度	Am. J. Agr. Econ. 55: 921-929	1973
Lee, I.M.	利用可能な農業統計の批判的評価	J. Am. Stat. Assoc. 47: 267-280	1952
Leiman, M.	割引商店による食糧の小売	USDA Marketing Research Report 785	1967
Leonard, L.A.	合衆国における農場不動産評価	USDA, ARS Report 43	1960
Leontief, W.W.	理論的仮定と観察されない事実	Am. Econ. Rev. 61: 1-7	1971
Leuthold, R.M., A.J.A. MacCormick, A. Schmitz, and D.G. Watts	豚価の日々の予測: 各種予測技術の研究	J. Am. Stat. Assoc. 65: 90-107	1970
Leven, C.L.	地域の成長にかんする諸理論	Problems of Chronically Depressed Areas: Agricultural Policy Institute, North Carolina State University and the TVA, API Series 19	1965
Light, R.J., F. Mosteller, and H. Winokur, Jr.	政策改善のための現地照合研究の利用	Report of the President's Commission on Federal Statistics, Vol. 2	1971

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Loftsgard, L.D., J.E. Johnson, and T.K. Ostenson	ノース・ダコタ州における個人財産 への課税	North Dakota State University, Department of Agricultural Economics (謄写)	1963
Loomis, R.A.	農業生産投入量測定にかんする加重 期間選択の効果	Agr. Econ. Res. 9: 129-136	1957
Loomis, R.A., and G.T. Barton	合衆国の農業生産性, 1870-1958	USDA Technical Bulletin 1238	1961
Lowenstein, F.	綿花収獲予想の変動	J. Farm Econ. 36: 674-680	1954
Luby, P.J.	豚の市場供給と価格の推定に利用し うるデータの評価	J. Farm Econ. 39: 1402-1408	1957
Lund, L.A., and M.C. Burk	児童の食糧消費行動にかんする総合 的分析	Minnesota Agricultural Experiment Station Technical Bulletin 265	1969
Lunde, A.S.	全国データ体系確立上の諸問題	Abstracts Booklet: ASA	1975
Lutz, E.A.	合衆国およびニューヨーク州におけ る地方・州財政	New York State College of Agriculture Extension Bulletin 1040	1960
McAllister, K.J.	流通におけるマーケットニュースの 役割と若干の問題	J. Farm Econ. 32: 958-968	1950
McCormick, F.B.	家畜と穀物市場報告—それらの改善 のために	J. Farm Econ. 37: 461-470	1955
McElveen, J.V.	南東部沿岸平地農村における人的資 源の特徴—農村貧民に重点をおいて	USDA Agricultural Economic Report No. 155	1969
McElveen, J.V., and K.L. Bachman	低生産性農場	USDA Agriculture Information Bulletin 108	1953
McElveen, J.V., and B.L. Dillman	サウスカロライナ州北東部沿岸平地 における農村貧民の概況	USDA Agricultural Economic Report 202	1971
McGregor, R.A., and O.M. Frost	園芸特産物調査の比較研究法	Agr. Econ. Res. 11: 106-114	1959
McHugh, R.B.	信頼区間推定と標本規模決定	Am. Statistician 15 (2): 14-17	1961
McPherson, W.K.	家畜と穀物市場報告の改善	J. Farm Econ. 38: 154-158	1956
McVay, F.E.	商業的桃地帯における商業的果樹園 総数の推定に適用された抽出法	J. Am. Stat. Assoc. 42: 533-540	1947
McVay, F.E., and H. Tucker	ノースカロライナ州における農業価 格統計の研究	Institute of Statistics, Series 42 (謄写)	1950
Madden, J.P.	アメリカ農村における社会的変動と 公的政策: 1970年代のための必要デ ータと研究	Am. J. Agr. Econ. 52: 308-314	1970
Madden, J.P.	プログラム効果の測定について— 農業経済学会社会経済統計特別委員 会提出論文		1973

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Madden, J.P., J.L. Pennock, and C.M. Jaeger	生活水準の同等性: 様々な特徴の家族と居住地にかんする貧困線の測定のための新しい処理方法	Rural Poverty in the United States: President's National Advisory Commission on Rural Poverty	1968
Maisel, S.J.	経済学および財政学文献と意思決定	J. Finance 29: 313-322	1974
Marion, B.W., and C.R. Handy	市場成果の概念と測定	USDA Agricultural Economic Report 244	1973
Marks, E.S., W.P. Mauldin, and H. Nisselson	1950 センサス事後調査: 調査設計の事例史	J. Am. Stat. Assoc. 48: 220-243	1953
Marschak, J.	情報体系の経済学	J. Am. Stat. Assoc. 66: 192-219	1971
Marsh, M., and H.E. Conklin	ブロックサンプル内の農場の変異性	J. Farm Econ. 35: 283-285	1953
Marshall, J.T.	カナダおよび合衆国で用いられる若干のセンサス概念の比較	J. Am. Stat. Assoc. 57: 494	1962
Martin, L.R.	合衆国における貧困の特徴, 1970 公開講義	University of California, Berkeley	1970
Masucci, R.H.	農業と工業の取引金額	USDA Marketing Research Report 375	1959
Masucci, R.H.	農業所得パリティの基準	Agr. Econ. Res. 14: 121-133	1962
Mathis, A.G.	牛乳販売形式の変化	Dairy Situation: USDA, ERS, DS-322	1968
Mathis, A.G.	より多くの乳清の生成	Dairy Situation: USDA, ERS, DS-332	1970
Matthews, T.H., and R. Bird	農民賦課の個人財産説 1950-1967	USDA Statistical Bulletin 447	1970
Mayer, L.V., and J.D. Ahalt	農業にかんする政策要求と統計的測定	Am. J. Agr. Econ. 56: 984-987	1974
Mead, E.	連邦政府の開拓: それに何を求めるべきか	Government Printing Office	1926
Mead, E.	連邦土地政策における連邦政府開拓の位置	Government Printing Office	1931
Melichar, E., and R.J. Doll	農業にかんする資本と融資の要件および銀行融資の利用可能性の増進のための提案	Reappraisal of the Federal Discount Mechanism, 1: 107-112, U.S. Federal Reserve System, Board of Governors	1969
Mendelowitz, A.I.	経済的減価の測定	J. Am. Stat. Assoc. 66: 140-148	1971
Mighell, R.L.	何が農場で誰が農民か?	Unpublished Paper	1969
Mikesell, J.J.	東北中央部諸州の開いのない土地の移動住宅居住の特質, 1967	USDA Agricultural Economic Report 203	1971
Miklius, W.	農業免税下の州間交易における自動車輸送活動の経済的成果	USDA Marketing Research Report 838	1969
Miller, R.H.	回帰法による国産タバコ葉消費の推定 — 第22回タバコ労働者会議提出論文	Asheville, North Carolina	1968

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Miller, R.R.	合衆国チーズ産業の変化	Dairy Situation: USDA, ERS. DS-336	1971
Moore, C.V.	灌漑水利用作物の生産機能推定のための一般的分析の枠組み	J. Farm Econ. 43: 876-888	1961
Morgan, A.F., ed.	アメリカ合衆国の栄養状況	California Agricultural Experiment Station Bulletin 769	1959
Morgan, J.N., and J.A. Sonquist	調査データの分析における諸問題と提案	J. Am. Stat. Assoc. 58: 415-434	1963
Morgenstern, O.	経済観測の正確性(第2版)	Princeton: Princeton University Press	1973
Morton, J.E.	人的資源統計の展開	Kalamazoo: Upjohn Institute	1969
Morton, J.E.	学生のためのアメリカ連邦政府統計入門	J. Econ. Lit. 10: 371-397	1972
Murray, N.C.	1900-1920の農業統計の展開にかんする精察	J. Farm Econ. 21: 707-717	1939
Murray, R.A., and R.D. Reinsel	メリランド州の6つの郡における農場と開いていない土地の不動産の譲渡, 1962	Maryland Agricultural Experiment Station Miscellaneous Publication 557	1965
Naive, J.J., C.B. Cox, and J.R. Wiley	屠殺豚の生体等級と仕立あげパーセントの推定の正確性	Indiana Agricultural Experiment Station Bulletin 650	1957
National Academy of Sciences	リモート・センシング: とくに農業および林業に関連して	Committee on Remote Sensing for Agricultural Purposes, National Research Council	1970
National Advisory Commission on Food and Fiber	未来の食糧と繊維	Washington, D.C.	1967
National Commission on Food Marketing	食糧——農民から消費者へ: 最終報告	U.S. Government Printing Office	1966
National Commission on Food Marketing	食鳥と鶏卵業の組織と競争	Technical Study 2	1966
National Commission on Food Marketing	酪農業の組織と競争	Technical Study 3	1966
National Commission on Food Marketing	果実, 野菜業の組織と競争	Technical Study 4	1966
National Commission on Food Marketing	製粉・製パン業の組織と競争	Technical Study 5	1966
National Commission on Food Marketing	食糧工業の構造	Technical Study 8	1966
National Commission on Food Marketing	食糧の農場・小麦価格開差の費用構成	Technical Study 9	1966
Nelson, P.E., Jr.	南西部におけるマーケットニュースの普及: 飼料穀物経営者と畜産経営者はいかにして市場情報を入手し評価するか	USDA Agricultural Economic Report 71	1965
Nelson, T.R.	討論: 包括的農業データ体系	J. Farm Econ. 49: 1556-1558	1967

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Neter, J., and J. Waksberg	世帯調査による支出データにかんする回答誤差の研究	J. Am. Stat. Assoc. 59: 18-55	1964
Newell, S.R.	実現可能な近代化計画に対応する農業予算内の計画	J. Farm Econ. 35: 855-864	1953
Newell, S.R.	作物・家畜推計の開発計画——アメリカ統計協会年次大会提出論文	Atlantic City, N.J.	1957
Newell, S.R.	作物・家畜推計の開発計画	J. Am. Stat. Assoc. 53: 587	1958
Newell, S.R.	討論：カナダにおける農業統計の現状および将来計画	J. Farm Econ. 40: 1769-1771	1958
Neyman, J.	代表法の相異なる二面について：層化抽出法と有意選出法	J. Royal Stat. Soc. (Series A) 97: 558-606	1934
Nieto-Ostolaza, Maria Del Carmen	農業研究における統計情報とモデルの間の均衡	International Journal of Agrarian Affairs 5: 458-470	1973
Nikolitch, R., and D.E. McKee	アメリカ農業の理解に対する農場経済分類の寄与	J. Farm Econ. 47: 1545-1554	1965
Niskanen, W.A., Jr.	官僚制度と代議制政体	Chicago: Aldine and Atherton	1971
Nordquist, A.V.	家畜と肉の生産における量ならびに傾向の測定	J. Am. Stat. Assoc. 47: 77-90	1952
Nordquist, A.V.	家畜の推定と一層の改善のための研究	Agr. Econ. Res. 8: 128-131	1956
Nybroten, N.	消費者選択と消費者等級の基準の研究	J. Farm Econ. 35: 135-139	1953
Ogren, K.E.	農民の取分率：三種の測定法	Agr. Econ. Res. 8: 43-50	1956
Ogren, K., F.E. Scott, K. Parr, and H. Rabinowitz	食糧生産物の農場——小売開差：費用と価格	USDA Miscellaneous Publication 741	1957
Olson, M., Jr.	国民所得と福祉水準：社会勘定の最近の推移——アメリカ統計協会経営経済部会議事録		1970
Orcutt, G.H.	政策と公的決定のための基本データ：技術的局面——データ、研究、政府	Am. Econ. Rev. 60 (2): 132-137	1970
Oury, B.	作物生産のモデル・ビルディングのさいの気候に対する配慮	J. Farm Econ. 47: 270-283	1965
Overton, R.S.	新しい統計シリーズ開発のための抽出法	Agr. Econ. Res. 1: 87-92	1949
Paarlberg, D.	討論：農業統計	J. Farm Econ. 32: 879-880	1950
Pallesen, J.E.	討論：センサス概念——過去、現在、将来	J. Farm Econ. 44: 622-624	1962
Palmer, C.O., and E.O. Schlotzhauer	果実生産の予測方法	Agr. Econ. Res. 2: 10-19	1950
Palmer, W.C.	気象の乾燥	U.S. Weather Bureau Technical Report 45	1962

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Parker, C.V.	カナダにおける農業統計活動の組織	J. Farm Econ. 33: 787-794	1951
Parker, C.V., and A.D. Holmes	カナダにおける農業統計の現状および将来の研究	J. Farm Econ. 40: 1758-1769	1958
Parr, R.D., and L.D. Calvin	ハシバミ生産の客観的予測にかんする研究	Agr. Econ. Res. 8: 92-94	1956
Parsons, M.S., F.H. Robinson, P. Strickler	農業機械: 利用, 減価償却, 取替え	USDA Statistical Bulletin 269	1960
Pavelis, G.A.	水資源計画における自然科学的データと経済学上のデータとの統合 — スタッフ会議への提出論文	USDA, ARS Soil and Water Conservation Research Division, Memphis, Tenn.	1965
Pearson, F.A., and G.E. Brandow	合衆国と海外における農業価格統計	J. Farm Econ. 21: 788-797	1939
Pechman, J.A., and P.M. Timpane, eds.	労働誘因と所得保証: ニュージャージー州の負の所得税と試み	Brookings Institution	1975
Penson, J.B. Jr.	農業部門における金融資産の要求: ポートフォリオ・バランス・アプローチ	Am. J. Agr. Econ. 54: 163-174	1972
Penson, J.B., Jr., and C.B. Baker	農業部門の集合所得と財産シミュレータ: 記述と分析	USDA Technical Bulletin	1978
Penson, J.B., Jr., D.A. Lins, and G.D. Irwin	農業部門の資金循環社会勘定	Am. J. Agr. Econ. 53: 1-7	1971
Perkinson, L.B.	ミシガン州における一般病院施設, 1965	Am. J. Agr. Econ. 51: 1548-1552	1969
Perrin, R.K.	農業政策のための作物収穫高の分析と予報 (未発表学位論文)	Iowa State University	1968
Peterson, A.G.	農産物価格指数	J. Am. Stat. Assoc. 42: 597-604	1947
Peterson, A.G.	編集者への手紙 — 農務省のパリティ指数	Am. Statistician 4 (1): 1	1950
Peterson, G.A., and E.O. Heady	農業に重点を置く単純モデルへの投入産出分析の適用	Iowa Agricultural Experiment Station Research Bulletin 427	1955
Phelps Brown, E.H.	低開発経済学	Econ. J. 82: 1-10	1972
Pine, W.H., and W.H. Scofield	カンサス州における農場不動産市場	Kansas Agricultural Experiment Station Bulletin 428	1961
Plaunt, D.H.	カナダの経験と包括的農業データ体系への願望	J. Farm Econ. 49: 1526-1540	1967
Price, D.W.	合衆国食糧支出に対する世帯構成の影響の特定	Michigan State University Research Bulletin 16	1967
Proctor, C.H.	調査員手引の変更が引き起こす回答誤差の変動 — アメリカ統計協会社会統計部会議事録		1965
Proctor, C.H., and B. Stines	農業統計調査における回答誤差研究のための試験調査	North Carolina State University, Institute of Statistics, Progress Report 34	1963

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Proctor, C.H., and B. Stines	農業の実態を獲得するための対話の 作用と面接による情報の質	Agr. Econ. Res. 24: 16-20	1972
Purcell, J.C., and R. Raunikar	パネル・データによる価格弾力性: 肉, 食鳥, 魚	Am. J. Agr. Econ. 53: 216-221	1971
Puterbaugh, H.L.	都市, 農村の非農業所得と農村の農 業所得の購買力, 1955	Agr. Econ. Res. 13: 89-94	1961
Quackenbush, G.G.	ミシガン州立大学コンシューマー・ パネルによる需要分析	J. Farm Econ. 36: 415-427	1954
Quackenbush, G.G., and J.D. Shaffer	コンシューマー・パネルによる食糧 購入データの収集	Michigan Agricultural Experiment Station Technical Bulletin 279	1960
Ramsey, C.E.	討論: 農業の構造変化と研究上のデ ータ要求	J. Farm Econ. 41: 1491-1494	1959
Randall, C.K.	パリティ価格	Agr. Econ. Res. 1: 11-16	1949
Randall, C.K.	「実現」農場所得: 陳腐化した概念 ? 意見	Am. J. Agr. Econ. 50: 430-432	1968
Randall, C.K., and R.H. Masucci	農場所得と非農場所得	J. Farm Econ. 45: 359-366	1963
Randall, C.K., and A.S. Rojko	農務省の価格・所得計画の方法, 前 提, 結果	J. Farm Econ. 43: 348-356	1961
Rathbun, D.B.	連邦統計にかんする大統領委員会の 報告	Am. Statistician 26 (1): 15-18	1972
Raunikar, R., J.C. Purcell, and J.C. Elrod	合衆国における食糧需要の時間的, 場所的状況——液状牛乳	Georgia Agricultural Experiment Station Research Bulletin 61	1969
Raup, P.M.	農業の構造変化と研究上のデータ要 求	J. Farm Econ. 41: 1480-1491	1959
Ray, R.M., III, and H.F. Huddleston	イリノイ州の農作物面積推定の試み ——遠隔送信データの機械処理にか んするシンポジウム議事録	Purdue University	1976
Reagan, B.B.	支出調査にかんする簡潔計画対詳細 計画	Agr. Econ. Res. 6: 41-53	1954
Reed, F.K.	郵送調査と回収増進の方法	J. Farm Econ. 31: 1265-1273	1949
Reinsel, R.D.	総体的にみた不動産市場 (未発表学 位論文)	Department of Agricultural Economics, Michigan State University	1973
Reinsel, R.D., and R.D. Drenz	農場計画利益の土地価格への資本化	USDA, ERS. Report 506	1972
Renshaw, E.F.	土地価格は高すぎるか? 土地市場 の動きにかんするノート	F. Farm Econ. 39: 505-510	1957
Rice, S.A., A.F. Hinrichs, H.R. Tolley, and P.M. Hauser	連邦統計統合化の諸問題: 討議	J. Am. Stat. Assoc. 40: 237-244	1945
Riley, H.E.	討議: 連邦統計シリーズ批判: 消費 者価格指数	J. Farm Econ. 38: 394-395	1956

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Ritz, P.M.	1947産業連関研究における商品生産部門——農業	Input-Output Analyses, Technical Supplement to Input-Output Analysis: An Appraisal, vol. 18, Studies in Income and Wealth, Princeton: Princeton University Press	1955
Rivlin, A.M.	所得分配——エコノミストは変えることができるか?	Am. Econ. Rev. 65: 1-15	1975
Robbins, P.R.	投入-産出情報の開発と利用	J. Farm Econ. 45: 831-838	1963
Roberts, J.M.	社会科学の性質と条件について	Daedalus 103: 54	1974
Robinson, T.C.M. and P.P. Wallrabenstein	農業就業の推定	J. Farm Econ. 31: 233-252	1949
Rogers, C.E.	特別郵送調査票を利用した任意標本と面接無回答	Agr. Econ. Res. 18: 10-12	1965
Rosenblatt, D., E. Glaser, and M.K. Wood	設計の原則と統計情報体系の評価	Am. Statistician 24: 10-15	1970
Ruggles, N., and R. Ruggles	国民勘定の発展と国民データ・ベース	Survey of Current Business 51 (7), Part 2	1971
Ruttan, V.W.	農業経済局の生活水準指数と農場経営者の平均所得との間の関係	J. Farm Econ. 36: 44-51	1954
Ruttan, V.W.	討論: 農家と非農家との所得比較	J. Farm Econ. 45: 381-384	1963
Rymes, T.K.	資本および全生産性要素の測定	Review of Income and Wealth 18: 79-108	1972
Sanderson, F.H.	収権予想の方法	Cambridge: Harvard University Press	1954
Sargent, R.L., J.R. Davidson, and L.A. Jones	モンタナ州における農村住宅融資の利用可能性	Montana Agricultural Experiment Station Bulletin 586	1964
Sarle, C.F.	農業統計の将来の改善	J. Farm Econ. 21: 838-845	1939
Sarle, C.F., J.J. Heimberger, J.R. Wallace, L. Soth, J.D. Baker, Jr., and M.H. Hansen	連邦作物報告事業にかんする議会下院委員会報告書をめぐる討論	Agr. Econ. Res. 5: 25-39	1953
Sarle, C.F., and T.C.M. Robinson	農業生産の測定	J. Farm Econ. 31: 213-230	1949
Schaars, M.A.	討論: 商事会社が要求する地方データ	J. Farm Econ. 37: 1057-1058	1955
Schaller, W.N.	新しい研究モデルのためのデータ要件	J. Farm Econ. 46: 1391-1399	1964
Schluter, G.E.	農業と合衆国国民所得・生産物勘定との関係	J. Northeastern Agr. Econ. Council 1: 83-93	1972
Schnittker, J.A.	討論: バリティ指数の改訂	J. Farm Econ. 41: 1300-1302	1959
Schnittker, J.A.	1962食糧・農業法の定式化における統計の役割	J. Am. Stat. Assoc. 58: 560	1963

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Schnittker, J.A. and E.O. Heady	投入・産出分析の農業重点地域モデルへの適用	Iowa Agricultural Experiment Station Bulletin 454	1957
Scholl, J.C., and C.E. Burkhead	郵送調査の無回答者に対する面接	Agr. Econ. Res. 1: 16-23	1949
Schrader, F.M.	討論: 農業統計	J. Farm Econ. 33: 794-796	1951
Schultze, C.L.	政府および公共のデータ要求(未公表論文)	Brookings Institution	Undated
Scott, F.E., and H. Badger	食糧マーケット・バスケット統計	Major Statistical Series of the U.S. Department of Agriculture, Vol. 4, Agricultural Marketing Costs and Charges: USDA Agriculture Handbook 365	1970
Scott, F.S., Jr.	飼育中の牛の評価	J. Farm Econ. 37: 127-129	1955
Scott, J.T., Jr., and E.O. Heady	計量経済学者とデータ・ギャップ: 回答	Am. J. Agr. Econ. 51: 188	1969
Scoville, O.J.	討論: 研究データ獲得のための統計計画にとって必要な開発	J. Farm Econ. 41: 1519-1521	1959
Searls, D.T.	大規模観察の問題について(未公表学位論文)	North Carolina State College	1963
Sells, T.	牛肉の価格開差 — 農業経済学会年次大会への提出論文	Columbus, Ohio	1975
Selltiz, C., M. Jabada, M. Deutsch, and S.W. Cook	社会関係の調査方法	New York: Holt, Rinehart, and Winston	1964
Senf, C.	一般統計調査 — II	Agr. Econ. Res. 1: 105-128	1949
Shaffer, J.D.	調査データから獲得された食糧の価格および所得弾力性にかんする情報	J. Farm Econ. 41: 113-118	1959
Shaffer, J.D.	郵送調査におけるあて名刷りこみ営業用返信封筒の費用と収入の差額	J. Farm Econ. 41: 268-271	1959
Shaffer, J.D.	郵送調査による住民の特徴の評価	J. Farm Econ. 41: 833-836	1959
Shaffer, J.D.	農作物流通にかんする社会的に支持された経済調査研究資料	USDA, ERS	1968
Shannon, C.E., and Warren Weaver	通信の数学理論	Urbana: University of Illinois Press	1969
Shapiro, H.	農業使用の有形動産に対する課税	USDA, ERS Report 86	1962
Shapiro, H.	規模の経済と地方政府の財政	Land Economics 39: 175-185	1963
Shapiro, H.T.	検証は可能か? 大規模計量モデル評価	Am. J. Agr. Econ. 55: 250-258	1973
Shaudys, E.T.	農業経営データの源泉としての農場パネル: オハイオ州の計画	Am. J. Agr. Econ. 51: 1211-1213	1969

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Shaw, L.H.	農場における投入総量と生産性の代用測定法	J. Farm Econ. 49: 670-683	1967
Shaw, L.H., and D.D. Durost	農業生産におよぼす天候の影響の測定	USDA, ERS Report 72	1962
Shaw, L.H., and D.D. Durost	コーン・ベルトにおけるとうもろこし収穫におよぼす天候と技術の影響 1929-1962	USDA Agricultural Economic Report 80	1965
Sheehy, S.J., and R.H. McAlexander	供給の推定のための代表的ベンチマーク農場の選定	J. Farm Econ. 47: 681-695	1965
Sheldon, H.D.	都市・農村・農場居住概念をいかに理解するか?	J. Am. Stat. Assoc. 55: 371	1960
Sherr, H.	食糧流通における損耗と喪失の再考のための基準	Agr. Econ. Res. 12: 52-57	1960
Sherr, H., E.A. Power, and R.A. Kahn	合衆国大陸における漁業生産物の供給と分配, 1930-47	National Food Situation: USDA, ERS, NFS-45	1948
Shiskin, J.	どれほど正確か?	Am. Statistician 14 (4): 15-17	1960
Shoemaker, K.	普及と応用にかんする未解決の諸問題	J. Farm Econ. 44: 1773-1778	1962
Siegel, I.H.	消費者物価指数における固有の概念は何か?	J. Farm Econ. 38: 361-368	1956
Simerl, L.H.	討論: 普及と応用にかんする未解決の諸問題	J. Farm Econ. 44: 1778-1780	1962
Simmons, W.	ニューヨーク州農村における評価の手順	Cornell University, New York State College of Agriculture, Extension Bulletin 760	1949
Simon, M.S.	衣料消費単位: 新時系列	Agr. Econ. Res. 10: 37-48	1958
Simpson, G.D.	必要な統計を与えるための財源と施設: 統計報告事業の役割	J. Farm Econ. 48: 1674-1682	1966
Simpson, G.D.	農業統計の利用者と生産者: 農業統計にかんするCENTOシンポジウムへの提出論文	Ankara, Turkey	1967
Simunck, R.W.	全国農場経済計算: 最近の分析上の要求, 簿記上の要件, 将来の可能性 (未公表論文)	USDA, ERS	1974
Simunek, R.W.	全国農場資本勘定	Am. J. Agr. Econ. 58: 532-542	1976
Sinclair, S.	討論: 農業統計	J. Farm Econ. 33: 804-806	1951
Small, R.P.	農務省の農業労働および賃金推定計画の修正	Statistical Reporter 75-11: 184-185	1975
Smith, C.C.	郵送調査の回答率におよぼす対人訪問の効果	Agr. Econ. Res. 4: 126-127	1952
Smith, R.K.	討論: 農業データ	J. Farm Econ. 36: 1247-1251	1954
Smith, R.K.	討論: 現在の地方データを一層利用可能で有用なものにするために	J. Farm Econ. 37: 1053-1056	1955
Snedecor, G.W.	社会科学における抽出実験の設計	J. Farm Econ. 21: 846-855	1939

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Southern, J.H., and W.E. Hendrix	テキサス州東北部における農村世帯の所得	Texas Agricultural Experiment Station Bulletin 940	1959
Southern Land Economics Research Committee	テネシー渓谷における農地所有と農地利用	Report 9	1970
Spielmann, H., and E.E. Weeks	合衆国農業生産力推計にかんする一覧表と批判	Am. J. Agr. Econ. 57: 922-928	1975
Spurlock, H.H.	アーカンソー, ミズーリ, オクラホマのオザーク高原農村住宅事情	Arkansas Agricultural Experiment Station Bulletin 736	1968
Spurlock, H.H.	居住単位と居住者の特徴との関連からみたオザーク地域農村住宅の特質	Arkansas Agricultural Experiment Station Bulletin 758	1970
Spurlock, H.H.	オザーク地域における農村自家所有者の家屋抵当融資の利用, 1966	USDA Agricultural Economic Report 211	1971
Stallings, J.L.	農作物の生産におよぼす天候の影響の測定	J. Farm Econ. 43: 1153-1160	1961
Stapp, P.	討論: 社会の変化と農業統計	J. Farm Econ. 40: 1225-1227	1958
Star, S.	生産増大の計算	Am. Econ. Rev. 64: 123-125	1974
Stauber, B.R.	農場価格データにかんする最近の未開拓領域	J. Farm Econ. 32: 865-877	1950
Stauber, B.R.	パリティ指数と農場支出調査	J. Farm Econ. 38: 369-377	1956
Stauber, B.R.	1959年の農務省指数改訂に関連した若干の政策問題	J. Farm Econ. 41: 1272-1288	1959
Stauber, B.R.	物価指数の構成に関する重大問題	Am. Stat. Assoc. Proceedings Business and Economic Statistics Section	1959
Stauber, B.R.	農民受取価格, 支払価格のデータ収集計画研究にかんする報告	J. Farm Econ. 46: 1336-1340	1964
Stauber, B.R., R.F. Hale, and B.S. Peterson	1959年1月の物価指数改訂	Agr. Econ. Res. 11: 33-80	1959
Stauber, B.R., N.M. Koffsky, and C.K. Randall	改訂物価指数	Agr. Econ. Res. 2: 33-62	1950
Steele, H.A., and G.A. Pavelis	灌漑政策と計画の経済学	Irrigation of Agricultural Lands: American Society of Agronomy, Series 11	1967
Steward, D.D., and P.R. Myers	住宅: 州データによる地域別の標準大都市統計圏の間の相異, 1970	USDA Agricultural Economic Report 230	1972
Stiebeling, H.K., and C.M. Coons	現代の合衆国の飲食物	Food and Life, Yearbook of Agriculture, 1939	1939
Stigler, G.J.	情報の経済学	J. Pol. Econ. 62: 213-225	1961
Stillman, C.W.	健全な農村とトルーマン・プラン	J. Farm Econ. 31: 391-408	1949
Stine, O.C.	パリティ価格	J. Farm Econ. 28: 301-305	1946

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Stinson, T.F.	州および地方政府をつうずる産業開発融資	USDA Agricultural Economic Report 128	1967
Stinson, T.F.	農村社会経済統計の情報体系への長期投資戦略にかんする意見—アメリカ農業経済学会年次大会への提出論文	Columbus, Ohio	1975
Stinson, T.F., E.L. Courtney, and R. Bird	農場不動産課税にかんする修正推定, 1950-67	USDA Statistical Bulletin 441	1969
Stocker, F.D.	ニューヨーク州における地方取引高税	Cornell University, Department of Agricultural Economics, AE852	1953
Stocker, F.D.	連邦所得税の農場住民に対するインパクト	USDA, ARS 43-11	1955
Stocker, F.D.	農場住民の可処分所得	Agr. Econ. Res. 8: 13-17	1956
Stocker, F.D.	効外住宅の発展が地方財政におよぼす若干の影響	Agr. Econ. Res. 9: 37-53	1957
Stocker, F.D.	農地の特恵的評価に関する立法機関とその他の記録の選択	USDA, ERS, AER 256	1963
Stocker, F.D., and J.C. Ellickson	農民はどれほど完全にその所得を報告するか?	National Tax J., 12: 116-126	1959
Stoner, J.E.	地方政府間協力	USDA Agricultural Economic Report 118	1967
Stout, R.G.	Frame Count Survey の利用による柑橘生産の推定	J. Farm Econ. 44: 1037-1049	1962
Sturt, D.W.	全国水準の農村労働市場情報の必要性	Labor Market Information in Rural Areas: Michigan State University, Center for Rural Manpower and Public Affairs	1972
Sudman, S., and R. Ferber	日記帳方式により消費者支出を得る試み	J. Am. Stat. Assoc. 66: 725-735	1971
Sundquist, W.B.	農業の構造変化とそれに伴う統計上の要求	Am. J. Agr. Econ. 52: 315-320	1970
Szaniawski, K.	完全情報の価値	Synthese 17: 408-424	1967
Taeuber, C.	農務省における統計計画の若干の局面	J. Am. Stat. Assoc. 42: 41-45	1947
Taeuber, C.	1954農業センサスの若干の結果	J. Am. Stat. Assoc. 52: 382	1957
Taeuber, C.	農業と農村住民に関連するセンサス・データの将来構造	Am. J. Agr. Econ. 53: 909	1971
Taylor, C.C., G.H. Aull, C.E. Woodall, and W.H. Faver, Jr.	サウス・カロライナ州における農場不動産評価手続にかんする提案	South Carolina Agricultural Experiment Station AE188	1960
Taylor, H.C.	農業統計の百年	J. Farm Econ. 21: 697-706	1939
Taylor, H.M.	討論: 農業価格データ	J. Farm Econ. 32: 877-879	1950
Teele, R.P.	合衆国における開拓の経済学	Chicago: Shaw	1927
Teper, L.	労働統計局消費者物価指数と家族生活のためのAMSの農民支払指数—対置	J. Farm Econ. 38: 378-390	1956

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Theil, H.	実用上の予測と政策	Amsterdam: North-Holland	1958
Thomas, M.D.	農業行政と研究上のデータ要件	J. Farm Econ. 38: 1452-1454	1956
Thompson, L.M.	小麦の生産における天候要因の評価	J. Soil and Water Conservation 17: 149-156	1962
Thompson, L.M.	グリーン・ソルガムの生産における天候要因の評価	Agron. J. 55: 182-185	1963
Thompson, L.M.	とうもろこしと大豆の生産における天候と技術	Iowa State University, Center for Agricultural and Economic Development, Report 17	1963
Thompson, L.M.	天候の変異性と食糧備蓄の必要性	Iowa State University, Center for Agricultural and Economic Development, Report 28	1966
Thompson, R.G.	討論: 農業データ収集のための確率抽出法	J. Farm Econ. 45: 1520-1521	1963
Timm, T.R.	合衆国の農業アウトルック計画の改善のための提案	J. Farm Econ. 48: 1179-1184	1966
Todd, A.S., Jr., and J.J. Ziricle, Jr.	立木価格推定にかんする調査方法の試み	Agr. Econ. Res. 4: 115-125	1952
Tostlebe, A.S.	農業における資本: 1870年以來の資本形成と資金供給	Princeton: Princeton University Press	1957
Tostlebe, A.S., D.C. Horton, R.J. Burroughs, H.C. Larsen, L.A. Jones, A.R. Johnson, and N.J. Wall	農業の財務構造に対する戦争のインパクト	USDA Miscellaneous Publication 567	1945
Trelagon, H.C.	情報の獲得と普及のために	Agricultural Statisticians in a Changing World: National Conference, Statistical Reporting Service	1962
Trelagon, H.C.	農業統計に関する現実の変化	J. Farm Econ. 45: 1500-1506	1963
Trelagan, H.C.	合衆国農業推定における新技術の発展—カナダ統計局連邦・州会議提出論文	Ottawa, Canada	1966
Trelagan, H.C.	サイバネティクスと農業	Agr. Econ. Res. 20: 77-81	1968
Trelagan, H.C.	向こう10年の農業統計—統計報告局会議の議事録	USDA, SRS	1968
Trelagan, H.C.	農業統計に対するセンサスの意味	Am. J. Agr. Econ. 53: 910	1971
Trelagan, H.C.	農業にかんする将来のセンサス・データ: 回答	Am. J. Agr. Econ. 54: 363	1972
Truesdell, L.	合衆国における都市・農村区分の発展, 1874-1949	Current Population Reports Population Characteristics, Series P-23, No. 1	1949
Tsai, R.	郵送調査の無回答による偏り是正の方法	Abstracts Booklet: ASA	1973
Tweeten, L.G., and J.E. Martin	合衆国農場不動産の価格変動予測の方法	J. Farm Econ. 48: 378-393	1966

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Tweeten, L.G., and T.R. Nelson	合衆国農場不動産の価格変動の源泉 と反響	Oklahoma Agricultural Experiment Station Technical Bulletin T-120	1970
United Nations	統計年鑑		Annual
United Nations	国民所得勘定方式: 方法研究	Series F, No. 2, New York	1968
United Nations, FAO	食糧・農業統計年報		Annual
United Nations, FAO	世界のパルプと紙資源と展望		1954
United Nations, FAO	農業経済計算の暫定手引	Rome	1973
United Nations, FAO, and Inter-American Statis- tical Institute	農業経済計算——第6会期, 農業統 計小委員会報告	Washington, D.C.	1971
United Nations, World Food Conference	世界食糧事情の評価: 現在と将来	Rome	1974
U.S. Congress	農務省の農作物推定と報告事業— 下院特別小委員会報告と勧告	82nd Congress, 2nd Session, Committee Print	1952
U.S. Congress	合衆国における水資源事業: 土地と 水の将来性および将来の水の必要条 件——国家水資源にかんする上院特 別委員会	86th Congress, 1st Session, Committee Print 12	1959
U.S. Congress	1960年農務省予算——下院農務省お よび関連機関小委員会, 予算小委員 前の公聴会	86th Congress, 1st Session Part 1	1960
U.S. Congress	農民に対するバリエーション報酬の位置— 上院記録44	90th Congress, 1st Session	1967
U.S. Congress	政府統計計画の調整と統合——合同 経済委員会, 経済統計小委員会の前 の公聴会	90th Congress, 2nd Session	1967
U.S. Congress	1970年代アメリカ農村の経済的・社 会的条件——政府活動にかんする上 院委員会	1st Session Parts 1, 2, 3	1971
U.S. Congress	連邦統計計画の起りうる政治化にか んする調査——下院郵政省・民間サ ービス委員会・センサス・統計小委 員会	92nd Congress, 2nd Session, House Report 92-1536	1972
U.S. Congress	1973農業および消費者保護法	Export Sales Reporting, Sec. 812, 93rd Congress, 1st Session	1973
U.S. Congress, House Appropriations Committee	1958農務省予算公聴会——予算小委 員会		1957
U.S. Congress, Joint Economic Committee	政府の価格統計——合同経済委員会 経済統計小委員会の前の公聴会	87th Congress, 1st Session, Part 1	1974
U.S. Congress, Office of Technology Assessment	食糧情報体系——総括と分析	Office of Technology Assessment OTA-F-35	1976
U.S. Congress, Office of Technology Assessment	食糧情報体系: 技術評価局技術評価 委員会の前の公聴会		1976
USDA	農業生産と効率の変動: 総括的報告	Statistical Bulletin 233	Annual
USDA	農業年鑑, 1923		1924
USDA	食糧と生活: 農業年鑑, 1939		1939

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
USDA	農務省主要統計シリーズ—いかに作られ、いかに利用されるか。		
	Vol, 1, 農業価格とバリエティ		1957, 70
	Vol, 2, 農業生産と効率		1957, 70
	Vol, 3, 粗および純農場所得		1957, 69
	Vol, 4, 農業流通費と諸掛かり		1957, 70
	Vol, 5, 農産物の消費と利用		1957, 72
	Vol, 6, 土地価格と農業融資		1957, 71
	Vol, 7, 農場人口, 就業と生活水準		1957, 69
	Vol, 8, 作物, 家畜の推計		1957, 71
	Vol, 9, 農民協同組合		1957, 70
	Vol,10, マーケット・ニュース		1972
Vol,11, 外国貿易, 農産物の生産と消費		1972	
USDA	連邦・州農業観測事業		1958
USDA	農務省の農業推計と報告事業	Miscellaneous Publication 703	1959
USDA, AMS	農場商品の供給と利用の測定:新指数 1922-54	Agriculture Handbook 91	1955
USDA, AMS	農業推計事業の発展の計画		1957
USDA, AMS	ミシガン州農民による流通情報の利用	AMS-418	1960
USDA, AMS, and Bureau of the Census	生産のための農民支出と農外所得の計算表のある農場生活—1955年地域別	Statistical Bulletin 224	1958
USDA, ARS	合衆国における世帯の食事水準, 春季	Household Food Consumption Survey, 1955, Report 6	1957
USDA, ARS	合衆国における作物と牧草地の施肥	Statistical Bulletin 216	1957
USDA, ARS	農場の経費と収入: 商業的・家族経営農場	Agriculture Information Bulletin 196	1958
USDA, ARS	農場の経費と収入: 類型, 規模, 立地別商業的農場	Agriculture Information Bulletin 230	1960
USDA, ARS	合衆国における世帯の食事水準, 1965春季	Household Food Consumption Survey, 1965-66, Report 6	1972
USDA, ARS	合衆国における食糧および栄養の個人摂取量, 1965春季	Household Food Consumption Survey, 1965-66, Report 11	1972
USDA, BAE	合衆国における食糧消費, 1909-48	Miscellaneous Publication 691	1949
USDA, B .E	合衆国における食糧消費	Agriculture Handbook 62	1953
USDA, Bureau of Human Nutrition and Home Economics	合衆国における世帯食糧消費, 1942春季	Miscellaneous Publication 550	1944
USDA, Bureau of Human Nutrition and Home Economics	合衆国における1948春季の都市世帯の食事の栄養価および1942年の食事との比較	Food Consumption Survey, 1948, Preliminary Report 12	1949

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
USDA, Conservation Needs Inventory Committee	基本統計: 土壌および水の保全の必要性にかんする全国一覽表, 1967	Statistical Bulletin 461	1971
USDA, ERS	農場不動産税—さいきんの傾向と事情		Annual
USDA, ERS	農場の経費と収入: 類型, 規模, 立地別商業的農場	Agriculture Information Bulletin 230	1962-72
USDA, ERS	農場人口: 1941~59の修正推定	ERS-90	1962
USDA, ERS	農業と経済成長	Agricultural Economic Report 28	1963
USDA, ERS	1970年までの世界食糧予算	Foreign Agricultural Economic Report 19	1964
USDA, ERS	合衆国の食糧消費: データの源泉と傾向, 1909-63	Statistical Bulletin 364	1965
USDA, ERS	変動する農産物市場	Agricultural Economic Report 95	1966
USDA, ERS	国民食糧事情	NFS-125	1968
USDA, ERS	アメリカの食糧販売	Report 446	1970
USDA, ERS	農場生産の効率と変化	Statistical Bulletin 233	1972
USDA, ERS	農場所得と資本勘定—1972 ERS 特別委員会	Unpublished report	1972
USDA, ERS	生産性: 各農業生産地域別の総農場生産と生産性の指数, 1939-71	Statistical Bulletin 233, Supplement 5	1972
USDA, ERS	流通経済調査の公表	Report 205	1973
USDA, ERS	特定の合衆国農作物の予算, 産出高, 投入, 可変費用	Vol. 1, Southeast Region (Report 457) Vol. 2, North Central Region (Report 458) Vol. 3, Great Plains Region (Report 459) Vol. 4, Northwest Region (Report 460) Vol. 5, South Central Region (Report 461) Vol. 6, Southwest Region (Report 514)	1973
USDA, ERS	食糧・繊維体系—どのように作るか	Agriculture Information Bulletin 383	1975
USDA, FCA	生産信用協会とその貸付	Bulletin CR-10	1968
USDA, Forest Service	林産物の需要と価格状況	Miscellaneous Publications 953, 983, 1009, 1045, 1066, 1086, 1165, 1195, 1231, 2239, 1292, 1315	Annual
USDA, Forest Service	アメリカの将来の木材資源	Forest Resource Report 14	1958
USDA, Forest Service	合衆国における木材の動向	Forest Resource Report 17	1965
USDA, Forest Service	合衆国における木材の見通し	Forest Resource Report 20	1974
USDA, Interbureau Coordinating Committee on Postwar Planning	アメリカ農民にとって平和は何を意味するか: 戦後農業と雇用	Miscellaneous Publication 562	1945

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
USDA, Interbureau Coordinating Committee on Postwar Planning	アメリカ農民にとって平和は何を意味するか: 完全雇用の維持	Miscellaneous Publication 570	1945
USDA, Interbureau Coordinating Committee on Postwar Planning	アメリカ農民にとって平和は何を意味するか: 外国貿易の拡大	Miscellaneous Publication 582	1945
USDA, Interbureau Coordinating Committee on Postwar Planning	アメリカ農民にとって平和は何を意味するか: 農業政策	Miscellaneous Publication 589	1945
USDA, PMA	農業用品と農産物の転換価値と度量衡	(謄写)	1947
USDA, SCS	土壌および水の保全の必要性にかんする全国一覧表(改訂1967)		1958, 1967
USDA, SCS	土壌調査, ヴァージニア州オレンジ郡	Prepared in Cooperation with Virginia Agricultural Experiment Station	1971
USDA, SCS	土壌調査リストの公表		1972
USDA, SRS	豚生産高報告		四半期
USDA, SRS	統計報告事業の目的と方法	Miscellaneous Publication 967, 1308	1964, 1975
USDA, SRS	作物と家畜の推計		1967
USDA, SRS	合衆国農業推計の話	Miscellaneous Publication 1088	1969
USDA, SRS	畑作物, 果実, 堅果の報告計画の変更	Crop Estimates Memorandum 1715 (謄写)	1971
USDA, SRS	家畜, 酪農, 家禽の報告計画の変更	Crop Estimates Memorandum 1720 (謄写)	1971
USDA, SRS	生鮮市場および加工野菜と馬鈴薯の報告の修正	Crop Estimates Memorandum 1728	1972
U.S. Department of Commerce	国民所得統計の概念と方法の理解		1954
U.S. Department of Commerce, Bureau of the Census	農業センサス		5年ごと
U.S. Department of Commerce, Bureau of the Census	合衆国農場人口の修正推定 1910-1950	Farm Population Series, Census-BAE16	1953
U.S. Department of Commerce, Bureau of Economic Analysis, Interindustry Economic Division	合衆国経済の投入・産出構造, 1967	Survey of Current Business 54 (2): 24-56	1974
U.S. Department of Commerce, Intensive Review Committee	センサス計画の評価		1954

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
U.S. Department of Commerce, Office of Business Economics, National Economics Division	合衆国経済の投入・産出構造1963	Survey of Current Business 49 (11): 16-47	1969
U.S. Department of Commerce, Weather Bureau	合衆国気象局の作成する公表気象データ資料に対する指針技術		1963
U.S. Department of Health Education, and Welfare	要約報告：農村所得維持の試み： 負の所得税の社会的試み	Sponsored by the Office of Economic Opportunity and the Department of Health, Education, and Welfare	1976
U.S. Department of the Interior, Bureau of Outdoor Recreation	戸外レクリエーション統計抜粋		1971
U.S. Department of the Interior	地質調査：合衆国における水利用推定にかんする定期的回状シリーズ	Circular 115, 398, 456, 556	1950, 1955 1960, 1965
U.S. Department of the Interior	資源調査の長期計画：合衆国地質調査の点検と研究計画		1964
U.S. Department of Labor, BLS	私経済における人時あたり産出高の傾向 1909-58	Bulletin 1249	1959
U.S. Department of Labor, BLS	人時あたり産出高指数	Bulletin 1827	1974
U.S. Federal Reserve System, Board of Governors	農家負債—1960農業サンプル調査によるデータ		1964
U.S. Government	連邦統計：大統領委員会報告：Vol. 1, 報告書, Vol. 2, 立証資料と記録文書		1971
U.S. Interstate Commerce Commission, Investigation and Suspension Docket 7656	穀物の多連貨車出荷—南部への河川横断		1963
U.S. Office of Management and Budget, Statistical Policy Division	標準産業分類手引, 1972		1974
U.S. Water Resources Council	国の水資源：水資源審議会の第一回全国評価		1968
U.S. Water Resources Council	水利用にかんするデータ・ベース：水資源審議会設計委員会のための水利用データ特別委員会報告		1969
U.S. Water Resources Council	水および関連土地資源の全国評価のための水資源地域と小地域		1970
University of New Brunswick, Department of Surveying Engineering	土地登記とデータ・バンクにかんするシンポジウム議事録		1968
Upchurch, M.L.	食糧・繊維産業のよりよいデータ体系をめざして	Am. J. Agr. Econ. 56: 635-637	1974

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Upchurch, M.L.	農業経済データの発展	A Survey of Agricultural Economics Literature, Vol. 2, Quantitative Methods in Agricultural Economics, 1940s to 1970s: University of Minnesota Press	1977
Van Dress, M.G.	食糧サービス業：使用食糧の類型、数量、価額	USDA Statistical Bulletin 476	1971
Van Vuuren, W.	発展した都市・工業経済における農業地価と収益（未公表学位論文）	University of California, Berkeley	1968
Veblen, T.	製品の資質と工芸の状態	New York: Kelley	1914
Vickery, R.E.	農家調査における面接手続きの評価	Agr. Econ. Res. 8: 59-65	1956
Vincent, W.H.	所得と支出データの源泉としての農家パネル	Agr. Econ. Res. 11: 97-102	1959
Vining, R.	経済地域の境界決定：経済組織の空間的構造の研究における統計上の概念	J. Am. Stat. Assoc. 48: 44-61	1953
Virginia Conservation Needs Inventory Committee	1967 ヴァージニア州の保全要求一覧	Virginia Polytechnic Institute, Extension Publication 384	1970
Vlasin, R.D.	州内小地域一論点とデータの意味：農業経済学会社会経済統計特別委員会のための作成論文		1973
Vlasin, R.D., L.W.Libby, and R.L. Shelton	アメリカ農村にかんする社会経済情報：当面の重点的改善点	Am. J. Agr. Econ. 57: 900-909	1975
Voelker, S.W.	郡政府業務にかんする特定の出版物と大平原諸州にとって特別に関係ある出費	North Dakota State University, Agricultural Economics Miscellaneous Report 3	1969
Vogel, F.A.	二段階多重標本設計の適用	Abstracts Booklet: ASA	1973
Vogel, F.A.	重複抽出枠による調査一適用上の諸問題	Abstracts Booklet: ASA	1975
Wales, H.G., and R. Ferber	市場調査にかんする基本文献目録	American Marketing Association, Bibliography Series 2	1956
Wales, H.G., and R. Ferber	” (第2版)	American Marketing Association, Bibliography Series 2	1963
Walker, F.A.	土地と地代	Boston: Little, Brown	1883
Wallace, D.	郵送調査票の擁護論と反対論	Public Opinion Quarterly 18: 40-52	1955
Waugh, F.V.	需要と価格分析	USDA Technical Bulletin 1316	1964
Webb, L.M.	討論：拡大価格調査計画の必要性	J. Farm Econ. 38: 390-394	1956
Weeks, E.E.	農企業	National Agricultural Outlook Conference, Washington	1970
Weeks, E.E.	総国民農業データ：状況と取るべき方法	USDA, ERS Progress Report	1971

著者	文献名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Weeks, E.E.	農業経済研究におけるデータ問題	Am. J. Agr. Econ. 53: 911	1971
Weeks, E.E.	農業所得の概念と測定および農業における全般的福祉	Western Agr. Econ. Assoc. Proceedings	1972
Weeks, E.E., T. Carlin, C. Cobb, J. Mikesell, P. Nelson, and A. Smith	農業所得と資本勘定—1972 ERS 特別委員会の決定と勧告(未公表)	USDA, ERS	1972
Weeks, E.E., G.E. Schluter, and L.W. Southard	農業経済の観察: データ体系の課題	Am. J. Agr. Econ. 56: 976-983 Am. J.	1974
Weiner, N.S.	連邦統計にかんする大統領委員会報告: 勧告, 意見, 反対意見の要約	Am. Statistician 28: 42-46	1974
Weisgerber, P.	商業的小麦生産: 世界市場, 合衆国生産センター, 経費と収益の分析	USDA, ERS Report 480	1971
Wells, O.V.	アメリカ食糧消費の変化, 1909-41	J. Home Econ. 34: 463-467	1942
Wells, O.V.	研究, 事業, 行政のための資料としての農業統計	J. Farm Econ. 32: 858-864	1950
Wells, O.V.	現実の変化と農業統計: 新しい事態へのデータの適用	J. Farm Econ. 40: 1214-1227	1958
Wells, O.V.	討論: 主要な経済部門において生じていることを経済指標はどれほど十分に示しているか?	J. Farm Econ. 43: 459-461	1961
Wells, O.V., J.D. Black, P.H. Appleby, H.C. Taylor, H.R. Tolley, R.J. Penn, and T.W. Shultz	農業経済局(BAE)の解体	J. Farm Econ. 36: 1-21	1954
Welsch, D.E., and D.S. Moore	農場経済階級区分に用いる基準がもつ諸問題と限界	J. Farm Econ. 47: 1555-1564	1965
Wessel, R.I.	郡政府はさらに縮小しうるか?	Iowa Farm Science 18: 25-27	1963
West, V.I.	討論: 農業統計収集のための抽出フレーム	J. Farm Econ. 47: 1539-1541	1965
Westcott, G.W.	討論: 農業改良普及事業のための農業データ要求	J. Farm Econ. 38: 1468-1470	1956
White, J.H.	討論: 計量分析のための統計上の隘路	J. Farm Econ. 46: 1410-1414	1964
White, J.P., ed.	合衆国土地権利証書と登記制度の改善問題にかんする研究会議事録	Indianapolis Law School, Indiana University and Purdue University	1968
Wickens, A.J.	統計と一般公衆の関心	J. Am. Stat. Assoc. 48: 1-14	1953
Wickens, A.J.	合衆国における連邦統計体系の展望	Am. Statistician 8 (4): 12-16	1954
Wigton, W.H., and W.E. Kibler	ハンバミの客観的収量推計の新方法	Agr. Econ. Res. 24: 37-46	1972
Wilcox, E.C.	高度専門化農業地域にかんする地方データの要件	J. Farm Econ. 38: 1455-1468	1956

著 者	文 献 名	掲載誌(巻(号):頁)又は発行所	発行年
Wilcox, E.C., and W.H. Ebling	州における農業データの表章	J. Farm Econ. 31: 309-322	1949
Williams, W.F., E.K. Bowen, and F.G. Genovese	牛肉の合衆国等級の経済効果	USDA Marketing Research Report 298	1959
Williams, W.H., and C.L. Mallows	パネル調査における系統的偏り	J. Am. Stat. Assoc. 65: 1338-1349	1970
Winkler, O.	農業生産「測定」への新処置	J. Am. Stat. Assoc. 58: 564	1963
Wollman, N., and G.W. Bonem	水の見通し: 品質と全国的増大	Baltimore: Johns Hopkins University Press	1971
Wooten, H.H., and J.R. Anderson	合衆国における土地の主な利用法	USDA Agriculture Information Bulletin 168	1957
Worswick, G.D.N.	経済科学における進歩は可能か?	Econ. J. 82: 73-79	1972
Woytinsky, E.S., and W.S. Woytinsky	世界における農業統計の発展	J. Farm Econ. 21: 761-787	1939
Wright, B.H., and R.E. Torgerson	現金穀物価格にかんする報告: 問題 点とそのありうる解決—アメリカ農 業経済学会年次大会への提出論文	Columbus, Ohio	1975
Zusman, P.	等級付けと分類計画決定のための理 論的基礎	J. Farm Econ. 49: 89-106	1967

統計研究参考資料 No. 11

1982年3月1日

発行所 法政大学日本統計研究所
東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03-264-9375

発行人 喜多克己